



- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
  - 2.1. 本書の目的
  - 2.2. 対象読者
  - 2.3. 本書の構成
  - 2.4. 本書の設定
- 3. ViewCreator / IM-Workflow を連携する
  - 3.1. サンプル1 特定のフローの完了案件一覧を作成する
  - 3.2. サンプル2 フロー別の滞留案件の一覧を作成する
  - 3.3. サンプル3 ユーザ別の滞留案件の一覧を作成する
  - 3.4. サンプル4 処理対象者が不在の案件一覧を作成する
  - 3.5. サンプル5 月別の案件推移グラフを作成する
- 4. ViewCreator / IM-BIS を連携する
  - 4.1. サンプル6 BAM情報からノード別の平均作業時間の一覧を作成する
  - 4.2. サンプル7 BAM情報から担当者別の平均作業時間の一覧を作成する
  - 4.3. サンプル8 BAM情報から月別の平均作業時間の一覧を作成する
- 5. ViewCreator / IM-FormaDesigner を連携する
  - 5.1. サンプル9 Formaアプリの登録データの一覧を作成する
- 6. 付録
  - 6.1. ViewCreator の設定データダウンロード
  - 6.2. IM-BIS のフローの案件データのテーブル情報を確認する
  - 6.3. アプリケーションのテーブル情報を確認する
  - 6.4. IM-Workflow の詳細画面への遷移URL

変更年月日	変更内容
2015-04-01	初版
2015-12-01	第2版 下記を変更・追加しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>「<a href="#">IM-Workflow の詳細画面への遷移URL</a>」にワークフローの詳細画面への遷移可能な権限の説明を追加しました。</li><li>「<a href="#">IM-BIS の履歴画面への遷移URL</a>」にワークフローの詳細画面への遷移可能な権限の説明を追加しました。</li></ul>
2020-04-01	第3版 下記を変更しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>「<a href="#">サンプル1 特定のフローの完了案件一覧を作成する</a>」の「<a href="#">クエリを作成する</a>」の一部の画像を変更しました。</li><li>「<a href="#">サンプル2 フロー別の滞留案件の一覧を作成する</a>」の「<a href="#">クエリを作成する (メイン画面)</a>」「<a href="#">クエリを作成する (リンク先画面)</a>」の一部の画像を変更しました。</li><li>「<a href="#">サンプル3 ユーザ別の滞留案件の一覧を作成する</a>」の「<a href="#">クエリを作成する</a>」の一部の画像を変更しました。</li><li>「<a href="#">サンプル4 処理対象者が不在の案件一覧を作成する</a>」の「<a href="#">クエリを作成する</a>」の一部の画像を変更しました。</li><li>「<a href="#">サンプル5 月別の案件推移グラフを作成する</a>」の「<a href="#">クエリを作成する</a>」「<a href="#">グラフ集計画面を作成する</a>」の一部の画像を変更しました。</li><li>「<a href="#">サンプル6 BAM情報からノード別の平均作業時間の一覧を作成する</a>」の「<a href="#">クエリを作成する</a>」の一部の画像を変更しました。</li><li>「<a href="#">サンプル9 Formaアプリの登録データの一覧を作成する</a>」の「<a href="#">クエリを作成する</a>」の一部の画像を変更しました。</li></ul>

## 本書の目的

本書は ViewCreator / IM-Workflow / IM-FormaDesigner / IM-BIS の連携、活用方法について、サンプルを用いて説明します。

### コラム

本書で説明する連携方法、およびサンプルは活用方法の1つとして提示させて頂いております。  
連携方法、サンプル、およびサンプルのカスタマイズに関する問い合わせに関しては、回答できかねますのでご了承願います。

### コラム

本書で説明する連携方法、およびサンプルは未完了案件20万件、完了案件20万件のデータが存在する想定で、動作を確認しています。  
ただし、パフォーマンスに関しては環境等の違いがあるため、保証するものではありません。  
必ずお客様の検証環境で検証のうえ、利用してください。

## 対象読者

本書は、IM-Workflow など各種アプリケーションのデータを ViewCreator から一覧を作成する活用例を紹介しております。  
本書での活用例は、「ViewCreator」「IM-Workflow」「IM-FormaDesigner」「IM-BIS」に関する基本操作を理解していることを前提としています。

各種アプリケーションの基本操作に関しては、関連ドキュメントを参照してください。

- [ViewCreator 管理者操作ガイド](#)
- [IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)
- [IM-FormaDesigner 作成者操作ガイド](#)
- [IM-BIS 業務管理者操作ガイド](#)

## 本書の構成

- [ViewCreator / IM-Workflow を連携する](#)  
ViewCreator、IM-Workflow を連携して活用する方法をご紹介します。
- [ViewCreator / IM-BIS を連携する](#)  
ViewCreator、IM-BIS を連携して活用する方法をご紹介します。
- [ViewCreator / IM-FormaDesigner を連携する](#)  
ViewCreator、IM-FormaDesigner を連携して活用する方法をご紹介します。
- [付録](#)  
サンプルの ViewCreator の設定データとサンプル作成手順の補足情報をまとめています。

## 本書の設定

本書では、以下の設定の環境を前提として説明しております。

- intra-mart Accel Platform 2015 Spring (Advanced Edition)
- IM-FormaDesigner for Accel Platform 2015 Spring
- IM-BIS for Accel Platform 2015 Spring

ViewCreator / IM-Workflow を連携して活用する方法をご紹介します。

## サンプル1 特定のフローの完了案件一覧を作成する

IM-Workflow の特定のフローに対し、完了案件一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルでできること
- このサンプルで参照するテーブルの情報
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

### このサンプルについて

このサンプルでは、IM-Workflow と IM-FormaDesigner で作成した特定のフローに対する完了案件の一覧を ViewCreator で作成します。

作成した一覧の項目に、ワークフローの案件へのリンクを設定すると、リンクから案件の詳細画面を表示できます。

本項では、Formaアプリケーションのサンプルとして登録されている「【サンプル】稟議書」のフローを例として、完了案件の一覧を作成します。

**【サンプル1】特定フロー完了案件一覧**

特定のフローの完了案件一覧を表示

任意の項目を表示できます  
表示項目に対し、サマリやグラフの表示も可能です

案件番号をクリック

案件番号	案件名	稟議番号	稟議件名	支払金額
000000016	【サンプル】稟議書	0123	書籍代	2900
000000008	【サンプル】稟議書	001		
000000013	【サンプル】稟議書	003		

稟議書

案件の詳細画面を表示

稟議番号: 0123

稟議件名: 書籍代

支払金額: 2,900 円

支払方法:  現金  銀行振込  リース

参考資料の購入

稟議内容:

成果予測:

参考資料: ファイル名 備考 更新日

### このサンプルでできること

- ViewCreator から IM-Workflow の詳細画面を表示するリンクを張ることができます。
- IM-Workflow の特定のフローに対し、任意項目を表示し、サマリやグラフの表示ができます。

**i** コラム

サマリ集計やグラフ集計の詳細な設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

## このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- アプリケーションのテーブル (imfr\_ut\_%アプリケーションID%)  
メインフォームに配置した画面アイテムの入力データを格納するテーブルです。  
案件毎に1レコード作成されます。

カラム	説明
データ登録ID (insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのIDです。 完了案件テーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
画面アイテム入力値 (imfr_ud_%フィールド識別ID%)	各画面アイテムにて入力、または選択された値を保持します。

- 完了案件テーブル (imw\_t\_cpl\_matter)  
完了案件情報を格納するテーブルです。  
案件毎に1レコード作成されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID (insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのIDです。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
案件番号 (matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日 (apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

**i** コラム

アプリケーションのテーブル名の確認方法は、「[アプリケーションのテーブル情報を確認する](#)」を参照してください。

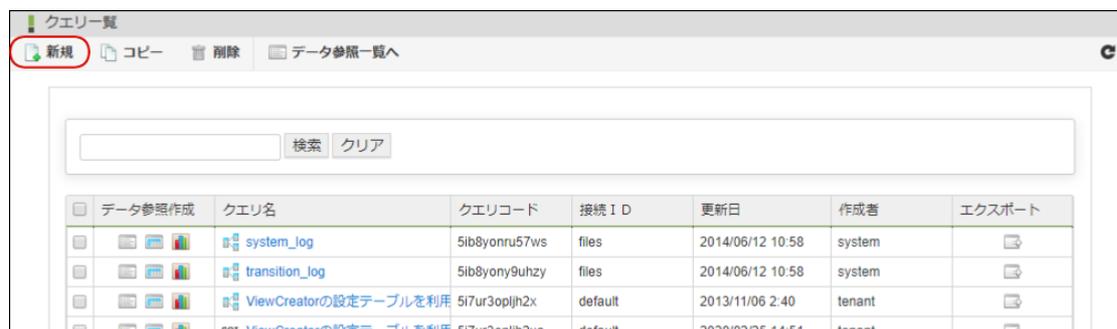
**i** コラム

IM-Workflow のテーブル定義情報の詳細は、「[IM-Workflow テーブル定義書](#)」を参照してください。

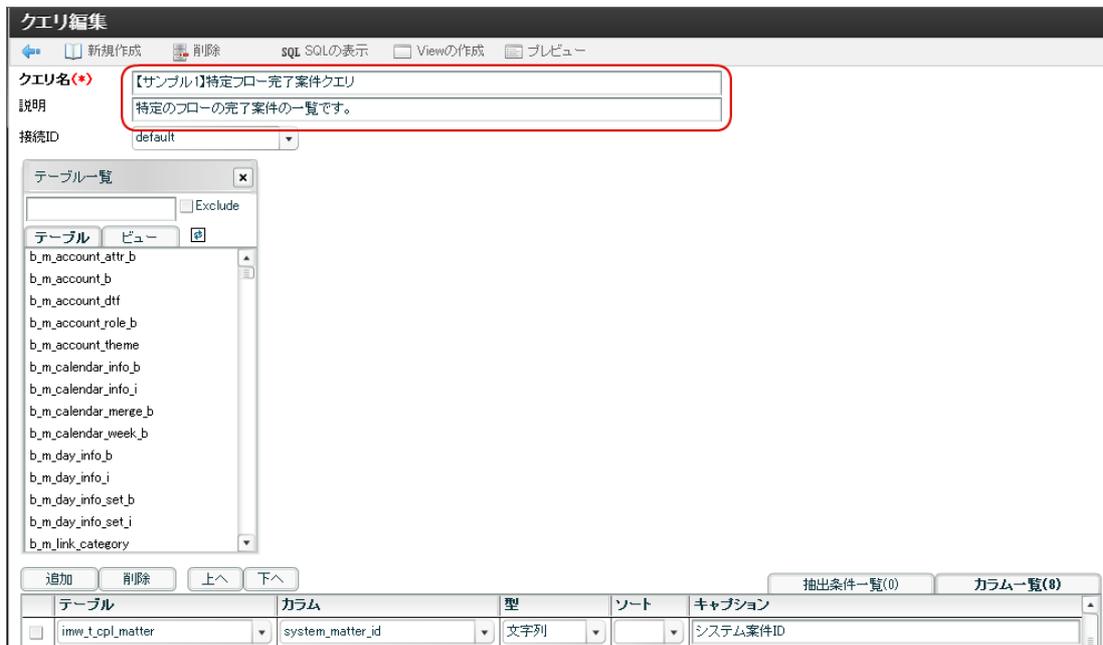
## クエリを作成する

IM-Workflow の特定のフローの完了案件に対応するクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリ一覧」をクリックします。
2. 「クエリ一覧」で「新規」をクリックします。

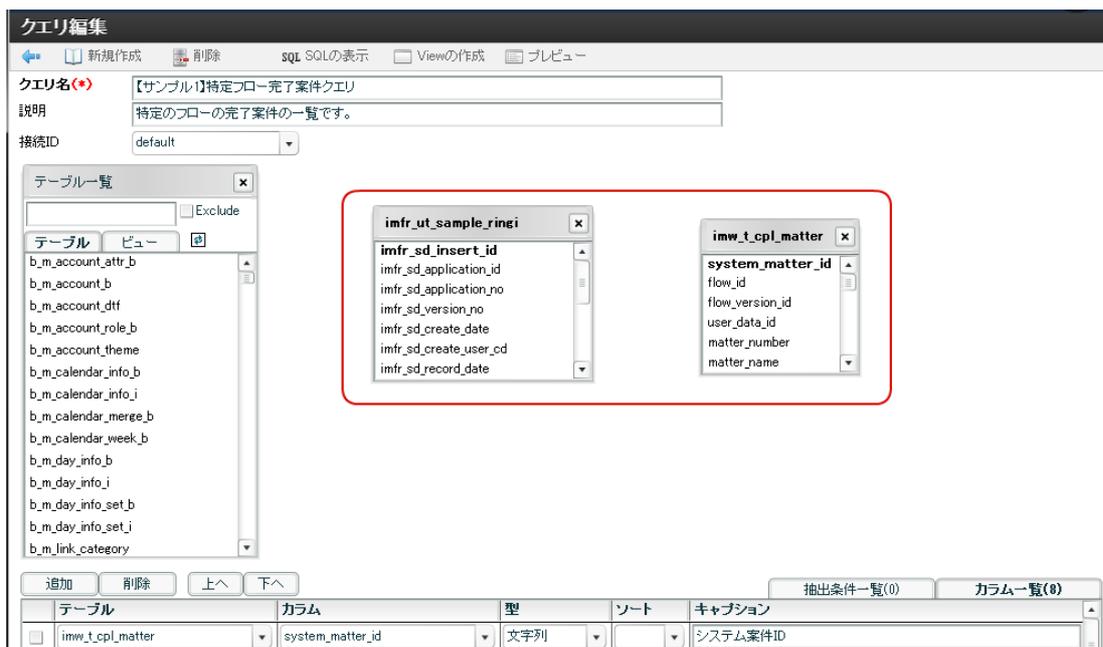


3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。



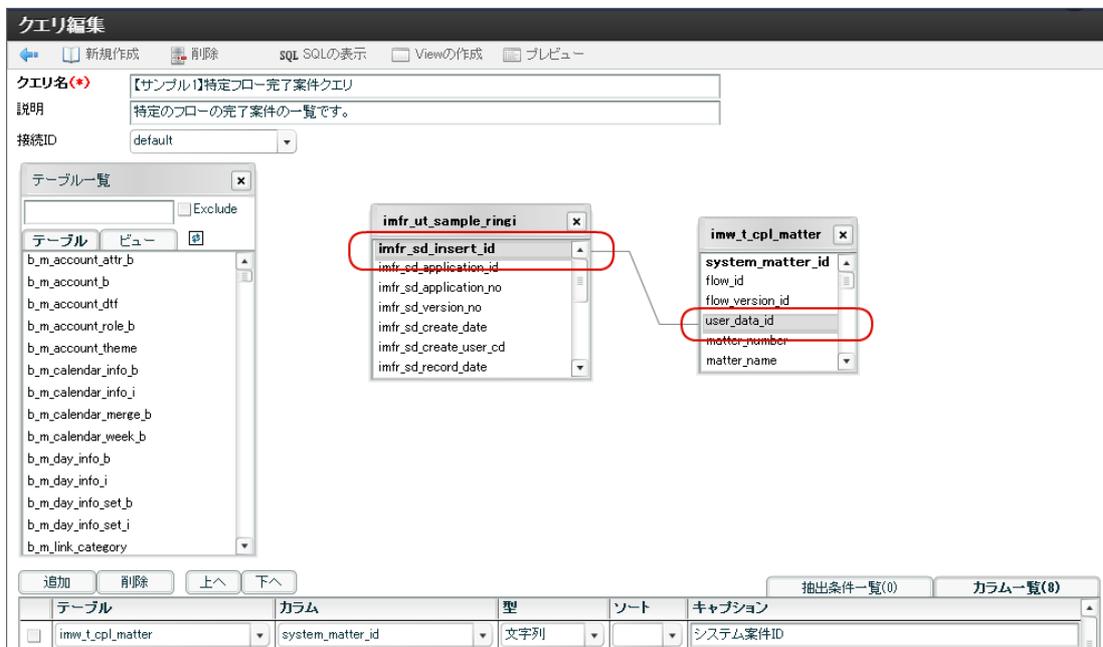
4. 「テーブル一覧」から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。

- imfr\_ut\_sample\_ringi
- imw\_t\_cpl\_matter



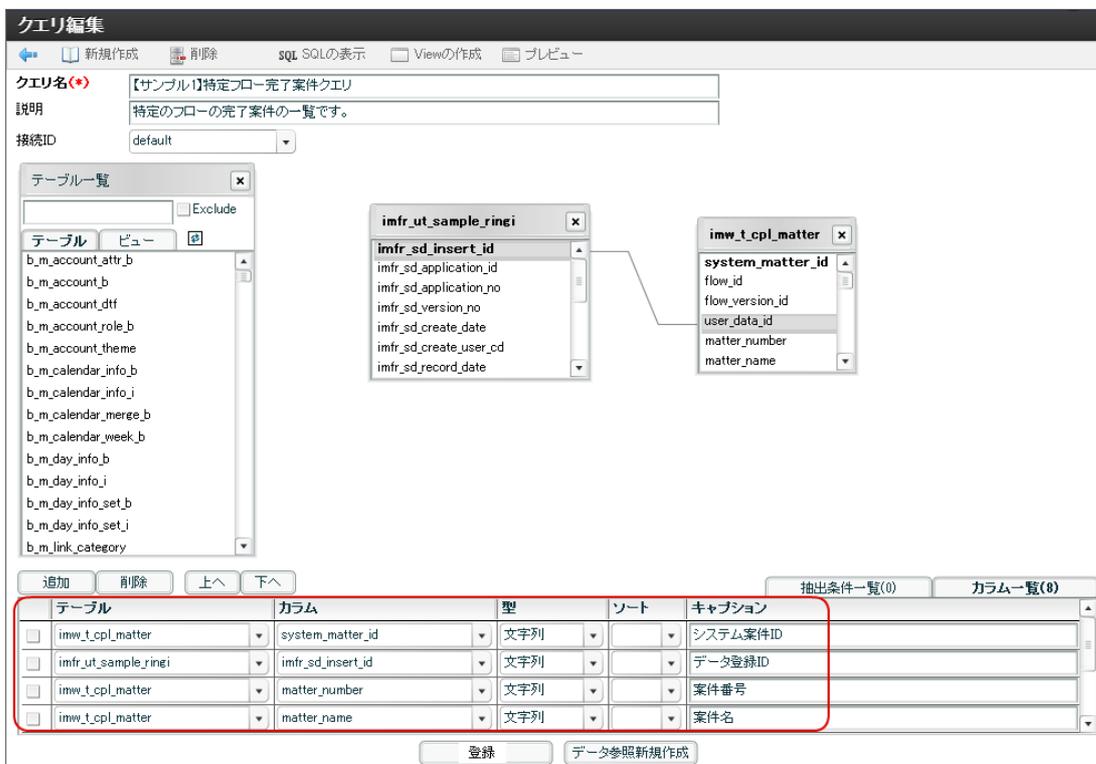
5. 配置したテーブルを下記の通りに結合します。

- imfr\_ut\_sample\_ringi、imw\_t\_cpl\_matter
  - データ登録ID (imfr\_sd\_insert\_id)
  - ユーザデータID (user\_data\_id)

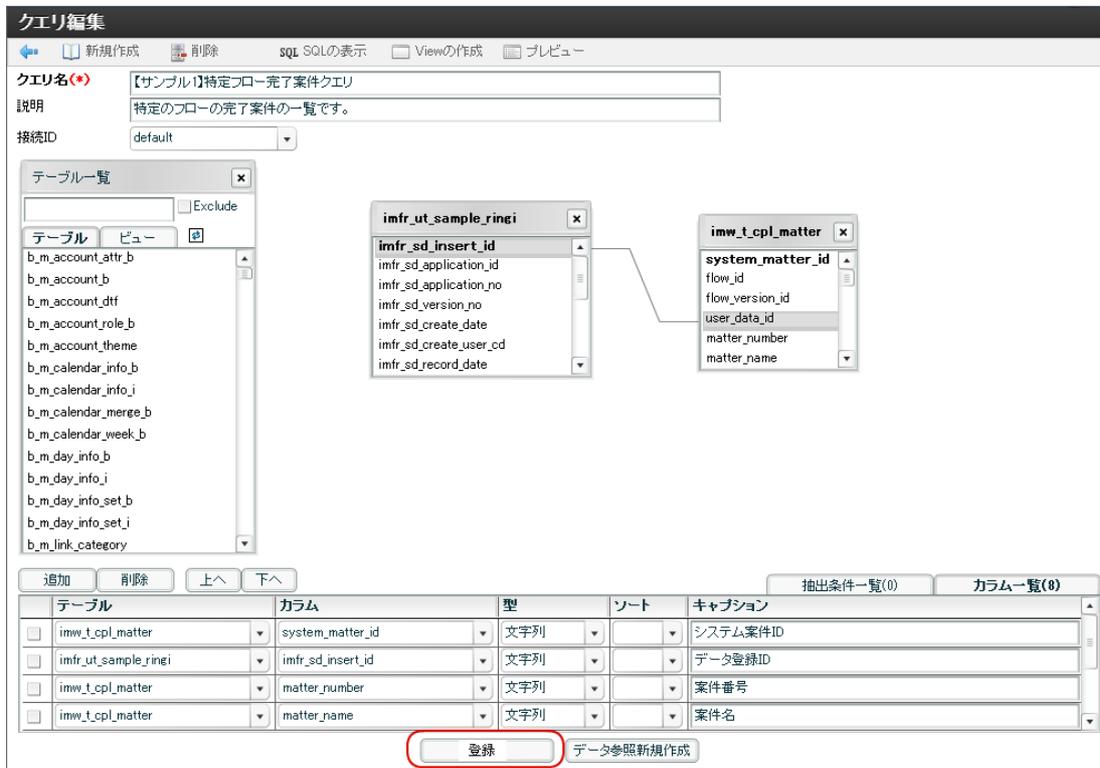


6. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。  
 一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imfr\_ut\_sample\_ringi
  - データ登録ID (imfr\_sd\_insert\_id)
  - その他に一覧に表示したい項目に対応する入力項目のカラム
- imw\_t\_cpl\_matter
  - システム案件ID (system\_matter\_id)
  - 案件番号 (matter\_number)
  - 案件名 (matter\_name)
  - 申請基準日 (apply\_base\_date)



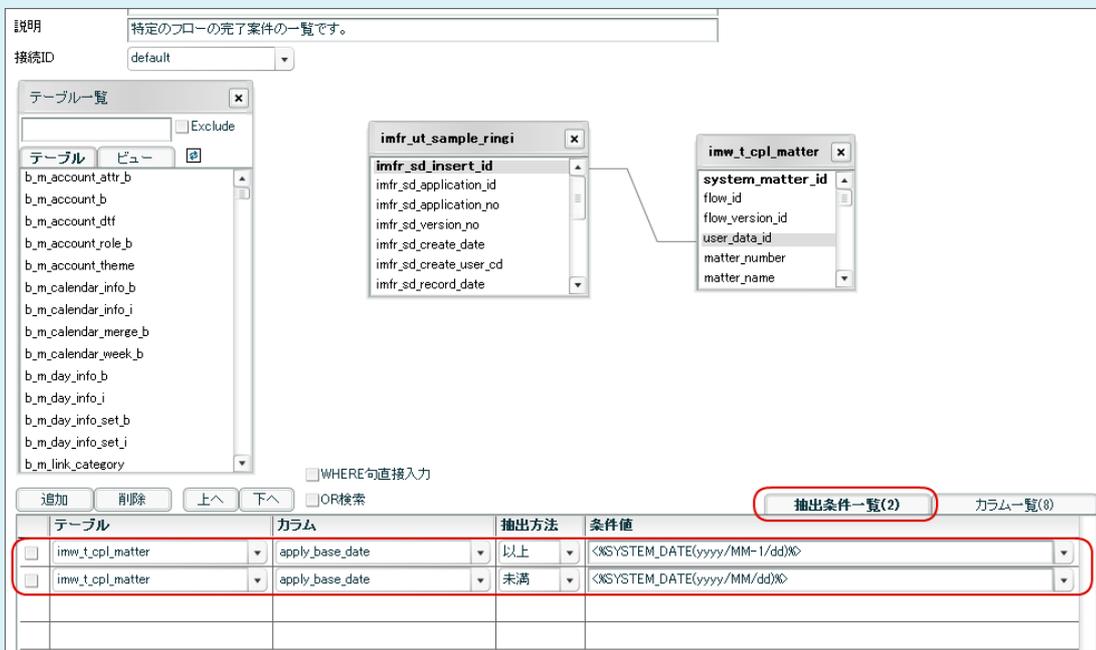
7. 追加が終わったら「登録」をクリックします。



8. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

### **i** コラム

案件数が多くリスト集計の表示に時間がかかる場合は、抽出条件を設定することで改善する可能性があります。「抽出条件一覧」で申請基準日を条件に追加すると、リストに表示する案件のデータ数を制限できます。また、申請基準日を条件に追加して改善しない場合、該当コラムにインデックスの設定を検討してください。



### リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

リストに表示する項目から IM-Workflow の詳細画面を表示できるように、リンクを設定します。

1. クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

b_m_calendar_week_b					
b_m_day_info_b					
b_m_day_info_i					
b_m_day_info_set_b					
b_m_day_info_set_i					
b_m_link_category					

追加	削除	上へ	下へ	抽出条件一覧(2)	カラム一覧(8)
テーブル	カラム	型	ソート	キャプション	
<input type="checkbox"/> imw_t_cpl_matter	system_matter_id	文字列		システム案件ID	
<input type="checkbox"/> imfr_ut_sample_ringi	imfr_sd_insert_id	文字列		データ登録ID	
<input type="checkbox"/> imw_t_cpl_matter	matter_number	文字列		案件番号	
<input type="checkbox"/> imw_t_cpl_matter	matter_name	文字列		案件名	

更新 データ参照新規作成

2. データ参照名などの情報を入力します。

**データ参照・新規作成 リスト/サマリ集計**

← プレビュー

---

**データ参照設定**

データ参照コード\*

データ参照名\*

▶ 国際化データ

クエリ名

集計パターン

説明

エクスポート機能の利用  利用する

---

**表示設定**

符線  符線を表示する

1行おきの背景色

表全体の幅  px

ヘッダ行の改行  改行する

---

**カラム一覧**

計算式を追加    カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
システム案件ID(system_mette)		<input type="checkbox"/>	# 3桁区切り			

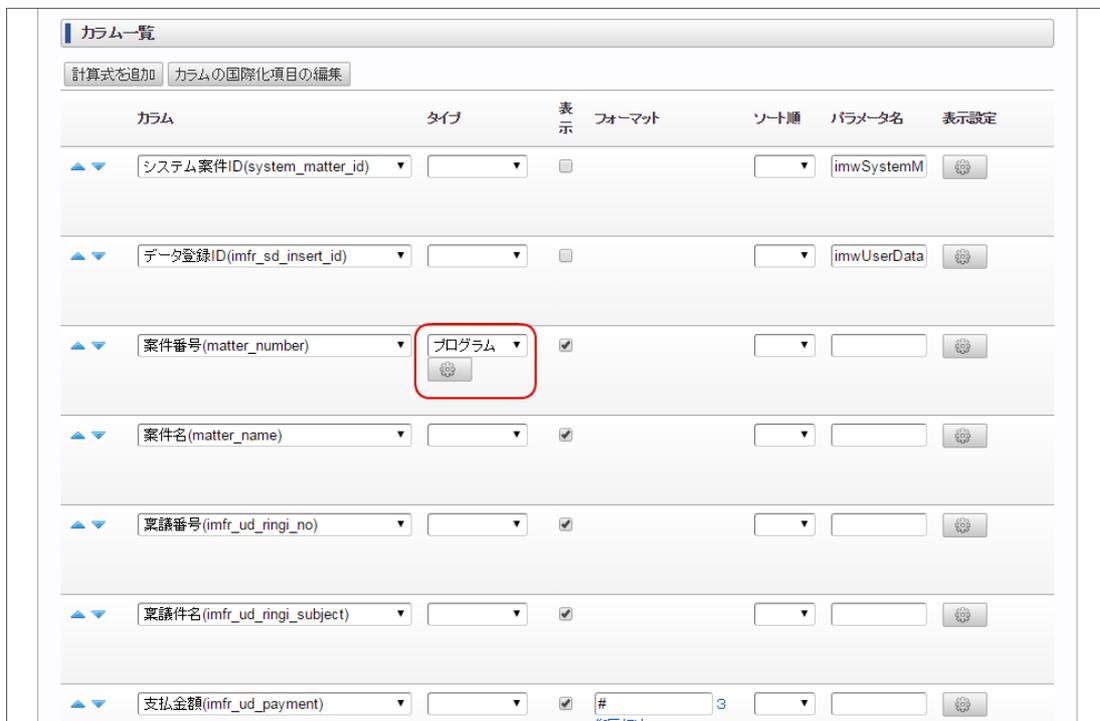
3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。また、数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。

**カラム一覧**

計算式を追加    カラムの国際化項目の編集

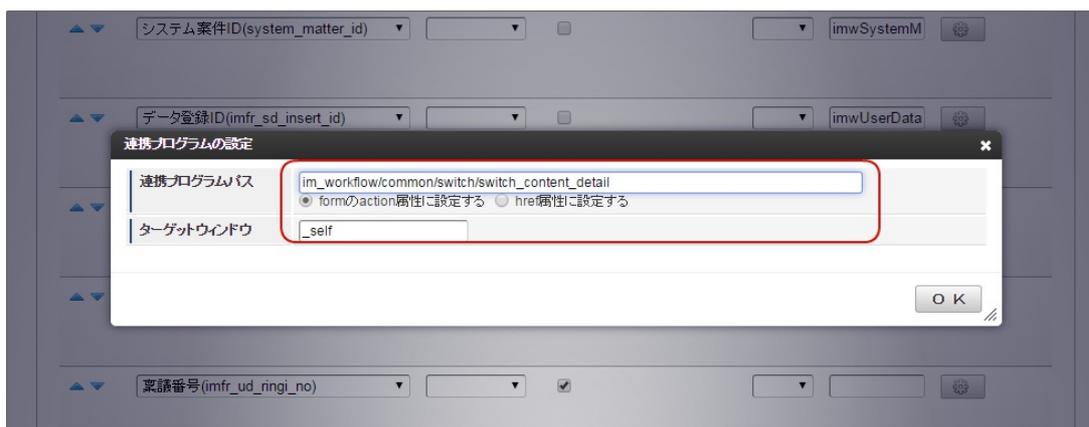
カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
システム案件ID(system_matter_id)		<input type="checkbox"/>			imwSystemM	
データ登録ID(imfr_sd_insert_id)		<input type="checkbox"/>			imwUserData	
案件番号(matter_number)	プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>				
案件名(matter_name)		<input checked="" type="checkbox"/>				
稟議番号(imfr_ud_ringi_no)		<input checked="" type="checkbox"/>				
稟議件名(imfr_ud_ringi_subject)		<input checked="" type="checkbox"/>				
支払金額(imfr_ud_payment)		<input checked="" type="checkbox"/>	# 3桁区切り			

4. 案件番号のカラム「matter\_number」から案件の詳細画面を表示できるように、リンクを設定します。リンクを設定するために「matter\_number」のタイプを「プログラム」に変更します。



5. リンク先として、IM-Workflow の詳細画面を呼び出すためのパスを設定します。

「」をクリックし、連携プログラムパスにリンクする IM-Workflow の画面のパスを入力し、「OK」をクリックします。

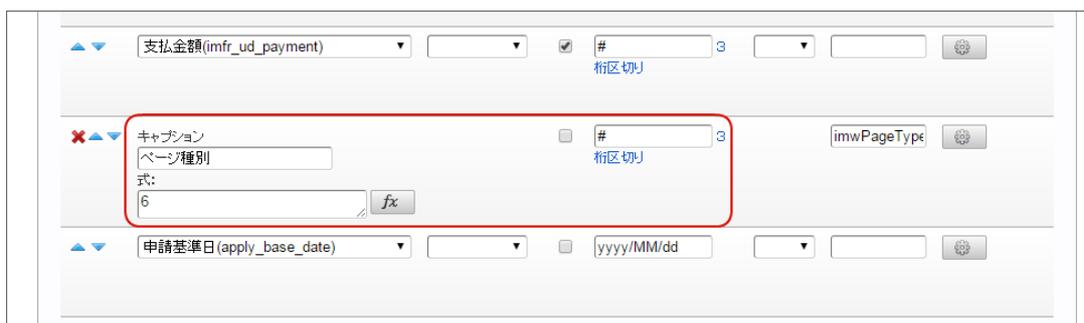


設定する画面 連携プログラムパス

詳細画面 im\_workflow/common/switch/switch\_content\_detail

6. リクエストパラメータとして、連携先のプログラムへ渡すパラメータを設定します。

リクエストパラメータに固定値を追加するため、「計算式を追加」をクリックし、下図のように設定します。



7. パラメータ名を以下の通りに設定します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
システム案件ID(system_matter_id)		<input type="checkbox"/>			imwSystemM	
データ登録ID(imfr_sd_insert_id)		<input type="checkbox"/>			imwUserData	
案件番号(matter_number)	プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>				
案件名(matter_name)		<input checked="" type="checkbox"/>				
稟議番号(imfr_ud_ringi_no)		<input checked="" type="checkbox"/>				
稟議件名(imfr_ud_ringi_subject)		<input checked="" type="checkbox"/>				
支払金額(imfr_ud_payment)		<input checked="" type="checkbox"/>	# 桁区切り	3		
キャプション ページ種別		<input type="checkbox"/>	# 桁区切り	3	imwPageType	

カラム	設定値
システム案件ID (system_matter_id)	imwSystemMatterId
データ登録ID (imfr_sd_insert_id)	imwUserDataId
ページ種別	imwPageType

### コラム

IM-Workflow の詳細画面へのリンクの詳細は、「[IM-Workflow の詳細画面への遷移URL](#)」を参照してください。

8. 一覧で自由に申請基準日の期間を設定して、表示する案件を検索できるように「検索設定」を以下のように設定します。

検索対象カラム	検索タイプ	検索条件デフォルト値	検索条件値・選択肢リスト
申請基準日 (apply_base_date)	範囲検索	<%SYSTEM_DATE/yyyy/M - <%SYSTEM_DATE/yyyy/M	

1ページに表示する行数: 50  
ヘッダー: fx

9. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。

パス:  
国際化データ

参照権 追加

ゲストユーザ  認認済みユーザ

**更新して一覧へ戻る**

10. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

### コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照してください。

## サンプル2 フロー別の滞留案件の一覧を作成する

---

IM-Workflow のフロー別に、滞留案件の一覧を作成します。

- [このサンプルについて](#)
- [このサンプルでできること](#)
- [このサンプルで参照するテーブルの情報](#)
- [クエリを作成する（メイン画面）](#)
- [クエリを作成する（リンク先画面）](#)
- [リスト集計画面を作成する（リンク先画面）](#)
- [リスト集計画面を作成する（メイン画面）](#)

### このサンプルについて

---

このサンプルでは、1週間以上処理が実行されていない案件の一覧を ViewCreator で作成します。  
作成した一覧の項目にリンクを設定し、リンクから処理対象者の一覧を表示します。

【サンプル2】フロー別滞留案件一覧

フロー別に未処理案件の件数を表示

フロー名	ノード名	案件番号(カウント)	案件名
+ 【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請	-	2	-
+ 【サンプル】住所変更申請	-	1	-
+ 1424840263498	-	2	-
+ Annotation	-	3	-
+ 稟議	-	2	-
		10	

フロー名をクリック

【サンプル2】フロー別滞留案件一覧

フローを選択することで、対象の案件を表示

フロー名	ノード名	案件番号(カウント)	案件名
- 【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請	承認	0000000010	【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請
		0000000019	【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請
		2	

案件名をクリック

【サンプル2-sub】フロー別滞留案件一覧

処理中ノードの処理対象者一覧を表示

処理対象者
青柳辰巳
萩本順子
原田浩二
林政義
生田一哉
片山聡
円山益男
大磯博文
関根千香
寺田雅彦
上田辰男
吉川一哉

### このサンプルでできること

- ViewCreator で作成した画面へのリンクを張ることができます。

### このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- 未完了案件未完了タスクテーブル (imw\_t\_actv\_task)
  - 次に処理するワークフローのタスクが格納されるテーブルです。処理待ちとなっているノードのタスクの情報が登録されます。IM-Workflow の処理は、差戻後の承認のように、同一ノードに対して複数回処理できます。タスクテーブルには、ノード上で行われた処理がタスクとして登録されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
開始日 (start_date)	タスクが登録された日時です。

- 未完了案件テーブル (imw\_t\_actv\_matter)
 

未完了案件情報を格納するテーブルです。  
案件毎に1レコード作成されます。  
作成されたレコードは、案件が完了すると削除され、完了案件テーブル (imw\_t\_cpl\_matter) に対応するレコードが作成されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
フローID (flow_id)	フロー定義を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID (user_data_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのID です。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
案件番号 (matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日 (apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 未完了案件ロケールテーブル (imw\_t\_actv\_matter\_locale)
 

ロケール毎に保持する情報を格納するテーブルです。  
申請時点でロケール毎に1レコード作成されます。  
フロー名を取得するために利用します。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ロケールID (locale_id)	ロケールを一意に特定するためのID です。
フロー名 (flow_name)	フロー名です。

- 未完了案件タスク処理対象者テーブル (imw\_t\_actv\_executable\_user)
 

処理対象者情報を格納するテーブルです。  
未完了案件未完了タスクテーブルで処理待ちとなっているタスクに対する処理対象者情報が格納されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
ロケールID (locale_id)	ロケールを一意に特定するためのID です。
権限者名 (auth_user_name)	処理対象者名です。

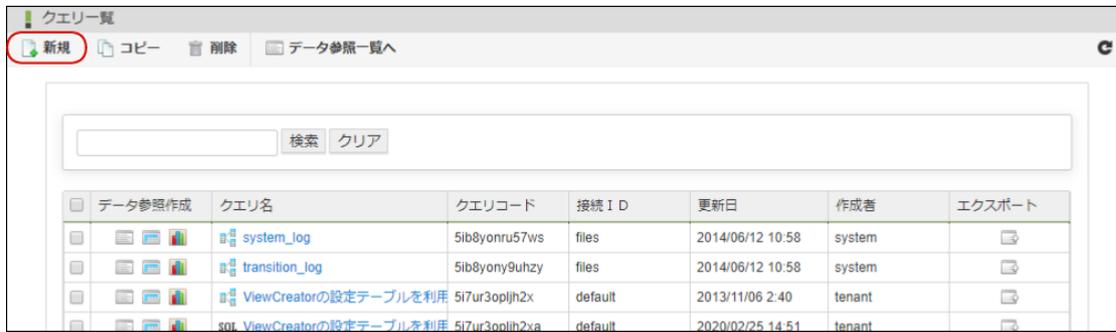
### コラム

テーブル定義情報の詳細は、「[IM-Workflow テーブル定義書](#)」を参照してください。

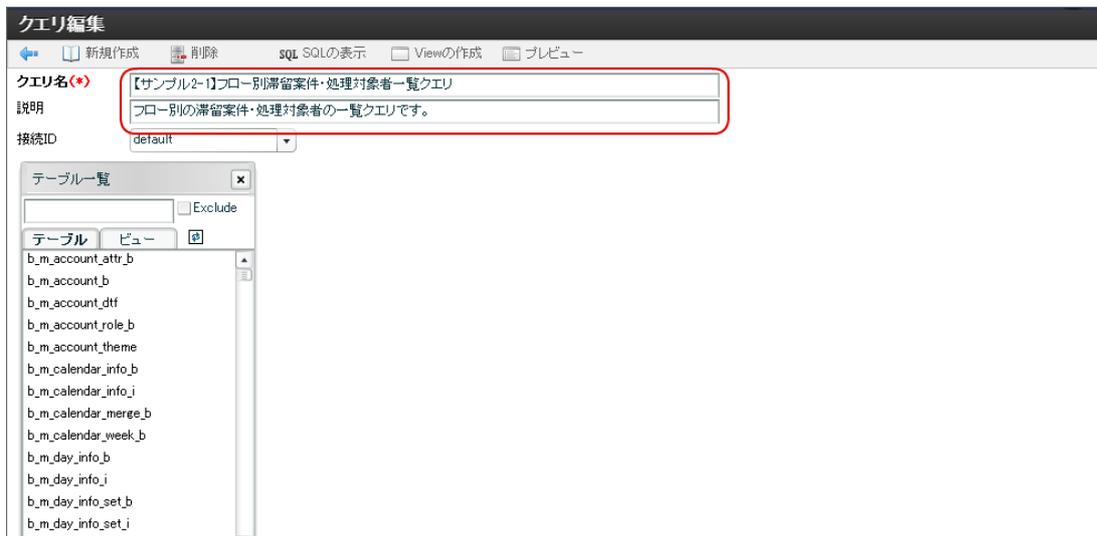
## クエリを作成する (メイン画面)

メイン画面となる IM-Workflow の未完了案件に対してクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリ一覧」をクリックします。
2. 「クエリ一覧」で「新規」をクリックします。

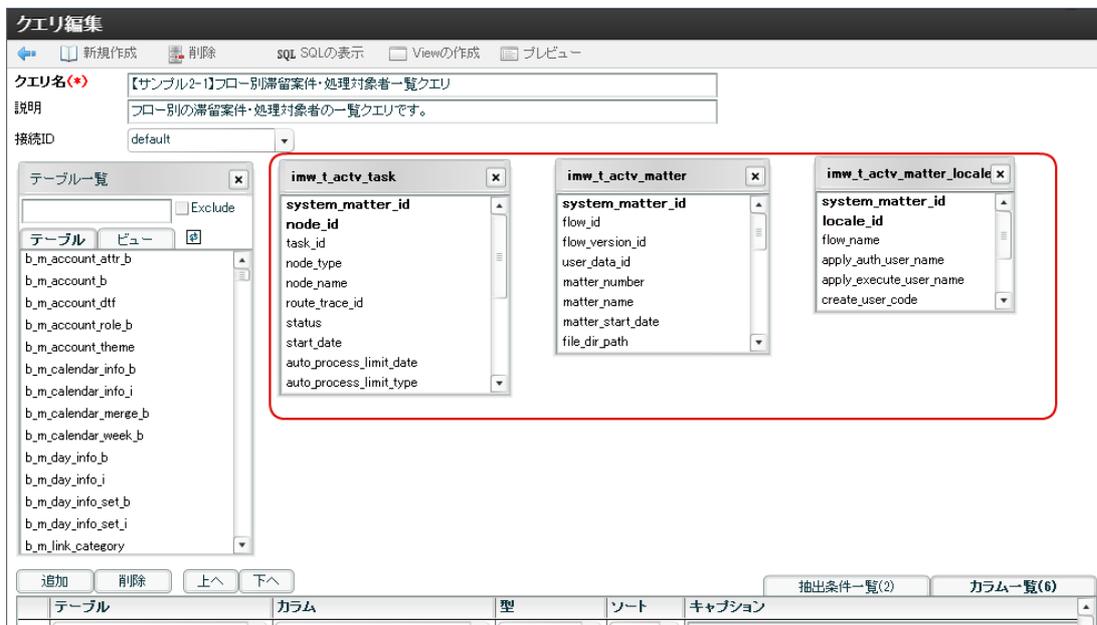


3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。



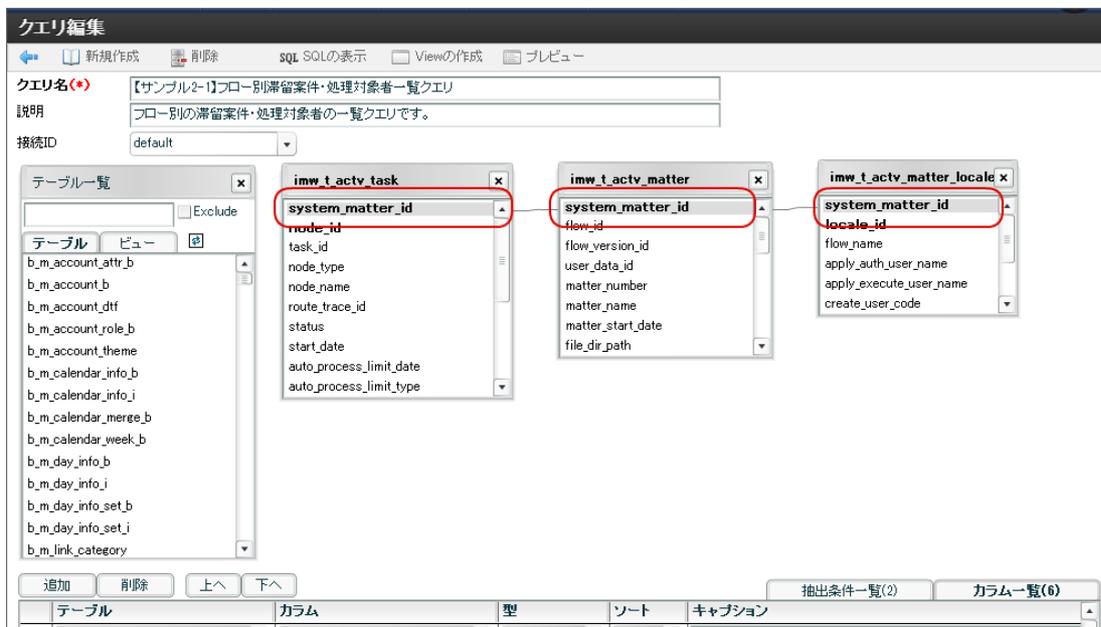
4. 「テーブル一覧」から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。

- imw\_t\_actv\_task
- imw\_t\_actv\_matter
- imw\_t\_actv\_matter\_locale



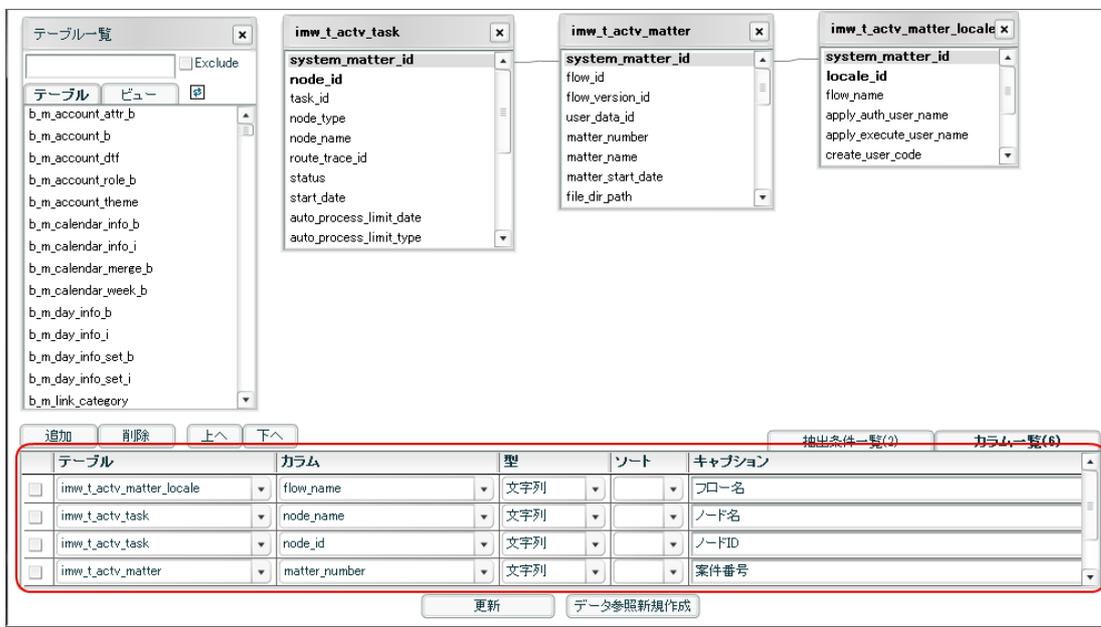
5. 配置したテーブルを下記の通りに結合します。

- imw\_t\_actv\_task、imw\_t\_actv\_matter
  - システム案件ID (system\_matter\_id)
- imw\_t\_actv\_matter、imw\_t\_actv\_matter\_locale
  - システム案件ID (system\_matter\_id)



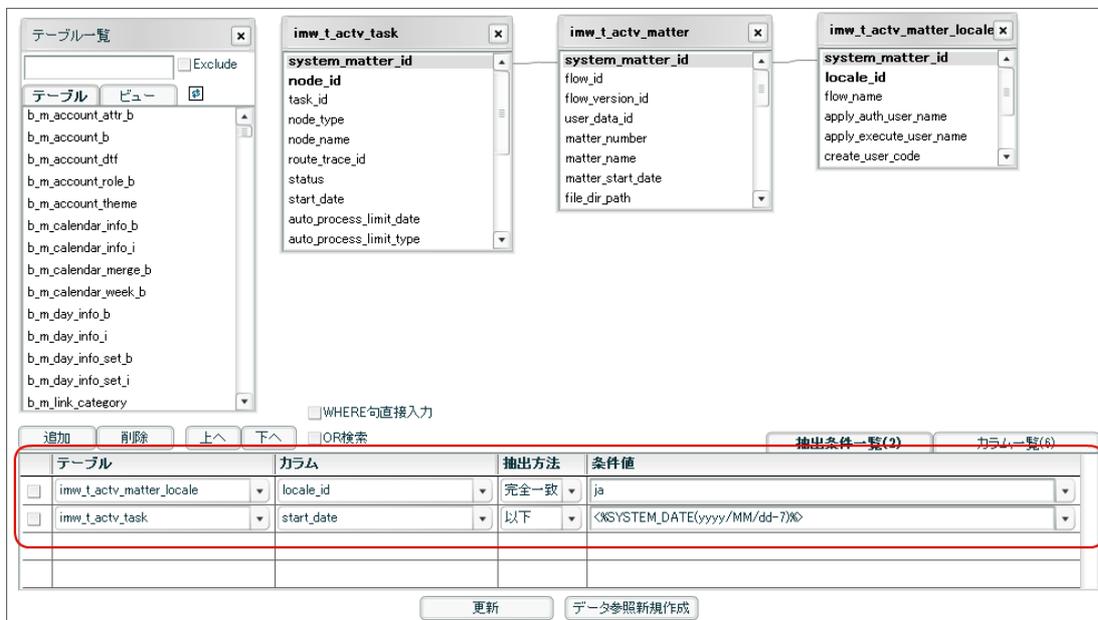
6. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。  
 一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imw\_t\_actv\_task
  - システム案件ID (system\_matter\_id)
  - ノードID (node\_id)
  - ノード名 (node\_name)
- imw\_t\_actv\_matter
  - 案件番号 (matter\_number)
  - 案件名 (matter\_name)
- imw\_t\_actv\_matter\_locale
  - フロー名 (flow\_name)



7. 「抽出条件一覧」に以下を追加します。

検索カラム	検索条件
ロケールID (locale_id)	ja 日本語を検索
開始日 (start_date)	<%SYSTEM_DATE(yyyy/MM/dd-7)%> 7日以上未処理のタスクを検索



8. 追加が終わったら「登録」をクリックします。



9. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

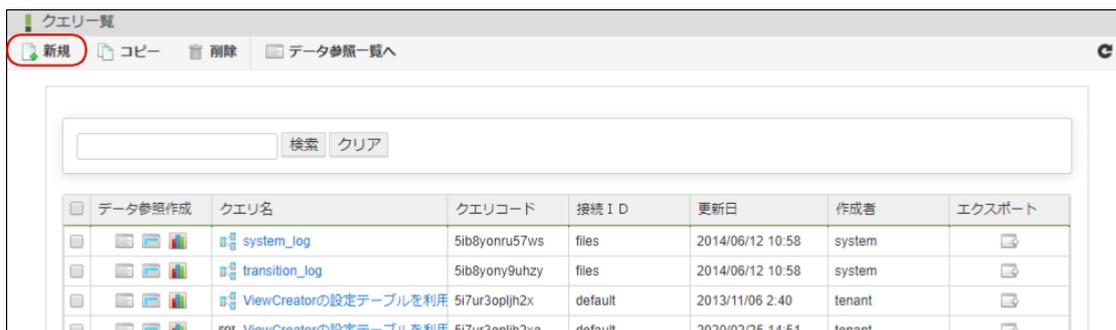
**i コラム**

案件数が多くリスト集計の表示に時間がかかる場合は、抽出条件を設定することで改善する可能性があります。「抽出条件一覧」で申請基準日を条件に追加し、データ数を制限すること等を検討してください。また、申請基準日を条件に追加して改善しない場合、該当コラムにインデックスの設定を検討してください。

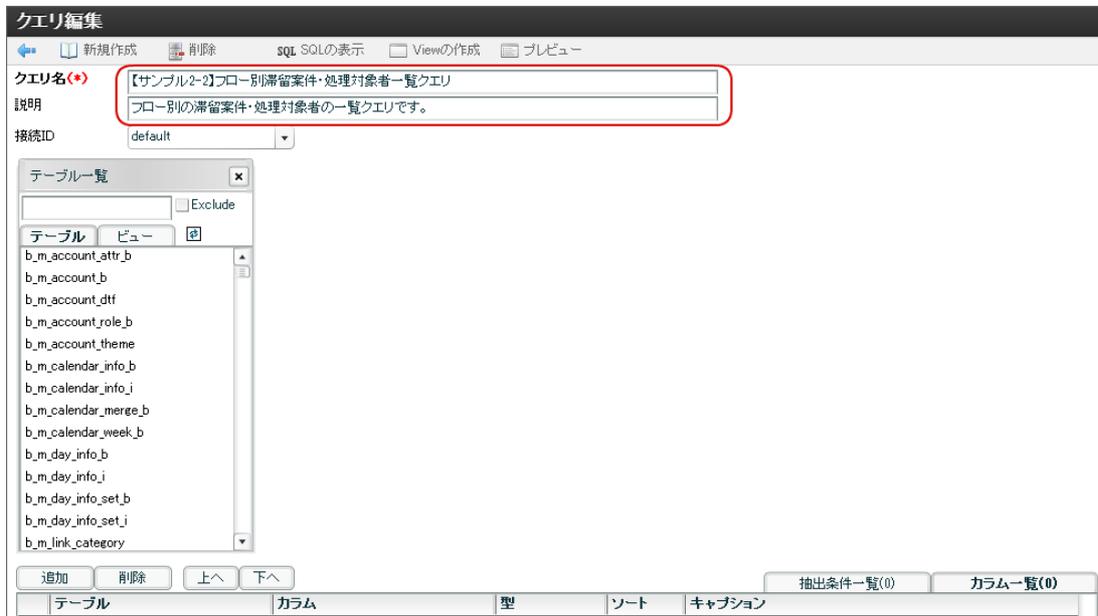
## クエリを作成する（リンク先画面）

リンク先画面用のクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリー一覧」をクリックします。
2. 「クエリー一覧」で「新規」をクリックします。

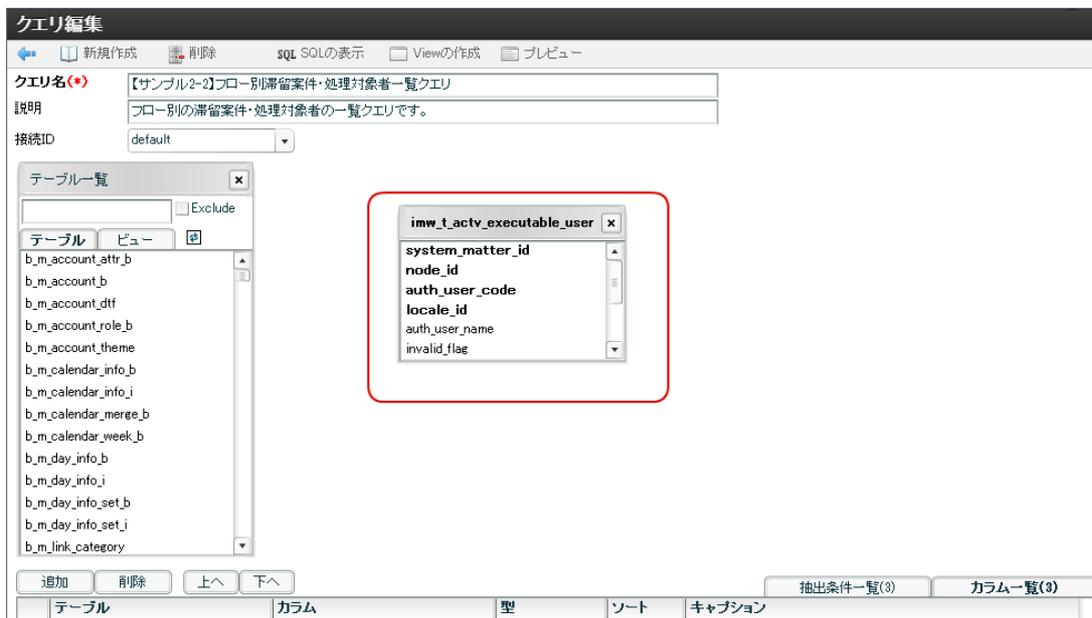


3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。



4. 「テーブル一覧」から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。

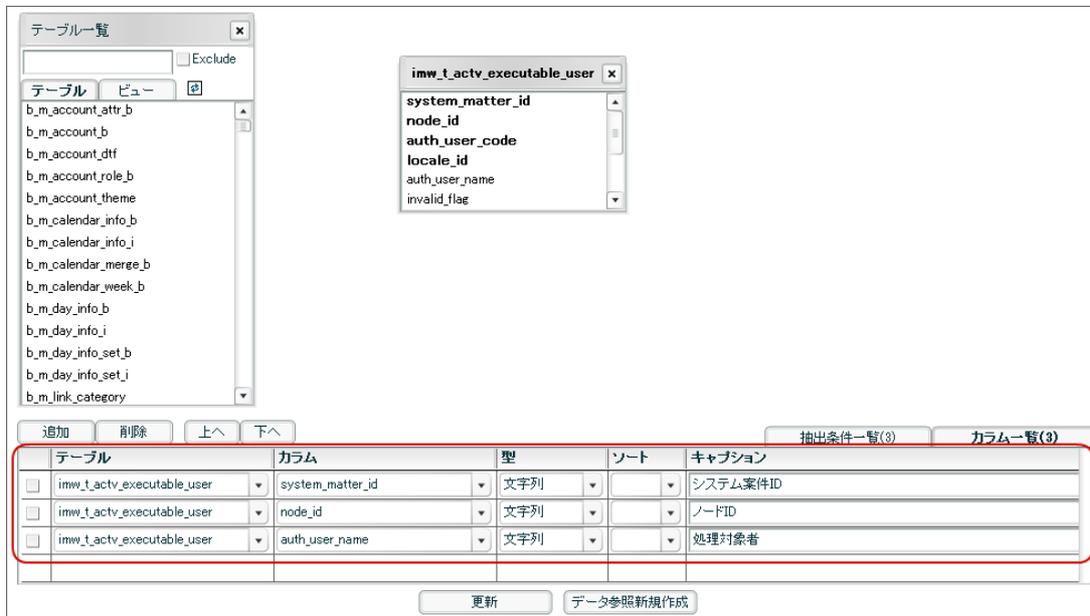
- imw\_t\_actv\_executable\_user



5. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。

一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imw\_t\_actv\_executable\_user
  - システム案件ID (system\_matter\_id)
  - ノードID (node\_id)
  - 処理対象者名 (auth\_user\_name)



6. 「抽出条件一覧」に以下を追加します。

検索カラム	検索条件
ロケールID (locale_id)	ja 日本語を検索
システム案件ID (system_matter_id)	<%REQUEST_PARAMETER(system_matter_id)%> データ参照画面表示時のリクエストパラメータの値を検索条件に設定
ノードID (node_id)	<%REQUEST_PARAMETER(node_id)%> データ参照画面表示時のリクエストパラメータの値を検索条件に設定



7. 追加が終わったら「登録」をクリックします。

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
imw_t_actv_executable_user	locale_id	完全一致	ja
imw_t_actv_executable_user	system_matter_id	完全一致	<REQUEST_PARAMETER(system_matter_id)>
imw_t_actv_executable_user	node_id	完全一致	<REQUEST_PARAMETER(node_id)>

8. 以上で、リンク先画面のベースとなるクエリが作成できました。

## リスト集計画面を作成する（リンク先画面）

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

メイン画面にリンク先画面に対するリンクの設定が必要なため、リンク先画面から作成します。

メイン画面からリクエストパラメータを受け取り、対象データを表示できるように設定します。

- クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
imw_t_actv_executable_user	locale_id	完全一致	ja
imw_t_actv_executable_user	system_matter_id	完全一致	<REQUEST_PARAMETER(system_matter_id)>
imw_t_actv_executable_user	node_id	完全一致	<REQUEST_PARAMETER(node_id)>

- データ参照名などの情報を入力します。

- 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。また、数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。

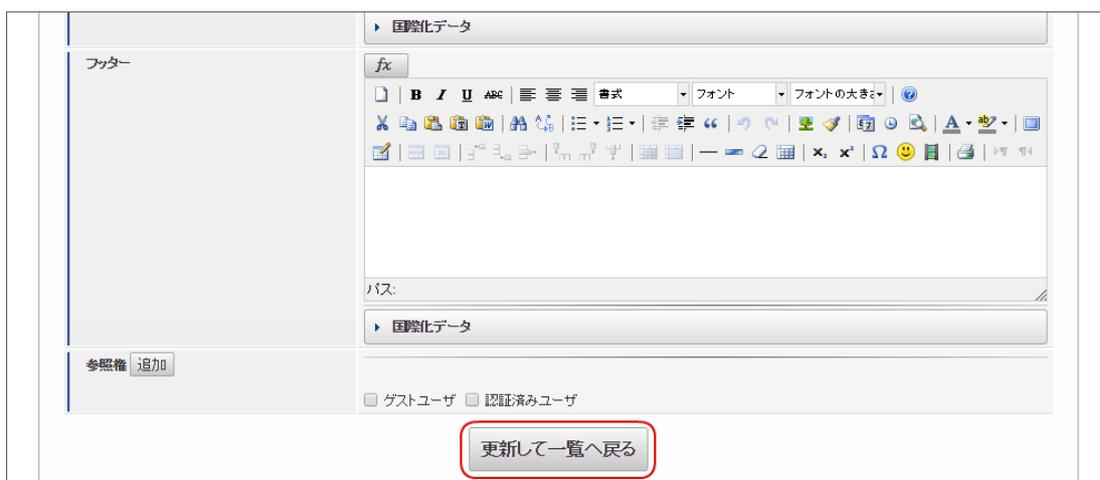


4. 抽出条件を設定します。  
 メイン画面からの遷移するとき、リクエストパラメータとして受け取るように設定します。

対象カラム	条件値
システム案件ID	<%REQUEST_PARAMETER(system_matter_id)%>
ノードID	<%REQUEST_PARAMETER(node_id)%>



5. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。



6. 以上で、リンク先画面の作成が完了しました。

## リスト集計画面を作成する（メイン画面）

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。  
 リストに表示する項目から 処理対象者をリンク先画面で表示できるように、リンクを設定します。

- クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imw_t_actv_matter_locale	flow_name	文字列		フロー名
imw_t_actv_task	node_name	文字列		ノード名
imw_t_actv_task	node_id	文字列		ノードID
imw_t_actv_matter	matter_number	文字列		案件番号

2. データ参照名などの情報を入力します。

データ参照編集リスト/タマリ集計

データ参照設定

データ参照コード: viewcreator\_sample22

データ参照名: 【サンプル2】フロー別滞留案件一覧

クエリ名: 【サンプル2】フロー別滞留案件・処理対象者一覧クエリ

集計パターン: リスト

説明:

エキスポート機能の利用:  利用する

3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。  
 数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。  
 また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。

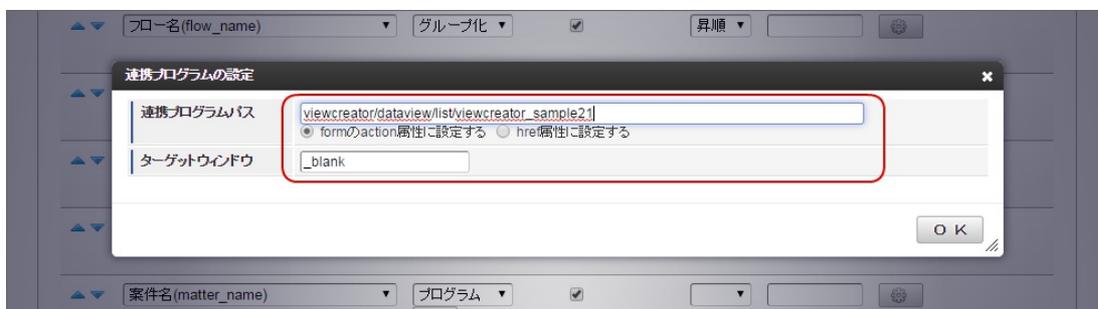
カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
フロー名(flow_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
ノード名(node_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
ノードID(node_id)		<input type="checkbox"/>			node_id	
案件番号(matter_number)	カウント	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
案件名(matter_name)	プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>				
システム案件ID(system_matter_id)		<input type="checkbox"/>			system_matte	

4. 案件名のカラム「matter\_name」から案件の詳細画面を表示できるように、リンクを設定します。  
 リンクを設定するために「matter\_name」のタイプを「プログラム」に変更します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▼ フロー名(flow_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
▼ ノード名(node_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
▼ ノードID(node_id)		<input type="checkbox"/>			node_id	
▼ 案件番号(matter_number)	カウント	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
▼ 案件名(matter_name)	プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>				
▼ システム案件ID(system_matter_id)		<input type="checkbox"/>			system_matte	

5. リンク先として、IM-Workflow の詳細画面を呼び出すためのパスを設定します。

「」をクリックし、連携プログラムパスにリンクする リンク先画面のパスを入力し、「OK」をクリックします。



設定する画面 連携プログラムパス

詳細画面 viewcreator/dataview/list/viewcreator\_sample21

### コラム

リンク先画面のパスは、「ViewCreator」 - 「データ参照一覧」にてリンク先に設定したいデータ参照を開き、上部のURLを確認してください。



1. リクエストパラメータとして、連携先のプログラムへ渡すパラメータを設定します。パラメータ名を以下の通りに設定します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
フロー名(flow_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
ノード名(node_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
ノードID(node_id)		<input type="checkbox"/>			node_id	
案件番号(matter_number)	カウント	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
案件名(matter_name)	プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>				
システム案件ID(system_matter_id)		<input type="checkbox"/>			system_matter_id	

カラム	設定値
ノードID (node_id)	node_id
システム案件ID (system_matter_id)	system_matter_id

2. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。

3. 以上で、メイン画面の作成が完了しました。

### コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照してください。

## サンプル3 ユーザ別の滞留案件の一覧を作成する

ユーザ別に、滞留案件の一覧を作成します。

- [このサンプルについて](#)
- [このサンプルで参照するテーブルの情報](#)
- [クエリを作成する](#)
- [リスト集計画面を作成する](#)

### このサンプルについて

このサンプルでは、特定のユーザに対し、処理待ちとなっている案件の一覧を確認できます。



### このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- 未完了案件タスク処理対象者テーブル (imw\_t\_actv\_executable\_user)**  
 処理対象者情報を格納するテーブルです。  
 未完了案件未完了タスクテーブルで処理待ちとなっているタスクに対する処理対象者情報が格納されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
ロケールID (locale_id)	ロケールを一意に特定するためのID です。
権限者名 (auth_user_name)	処理対象者名です。

- 未完了案件テーブル (imw\_t\_actv\_matter)**  
 未完了案件情報を格納するテーブルです。  
 案件毎に1レコード作成されます。  
 作成されたレコードは、案件が完了すると削除され、完了案件テーブル (imw\_t\_cpl\_matter) に対応するレコードが作成されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
フローID (flow_id)	フロー定義を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID (user_data_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのID です。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
案件番号 (matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日 (apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 未完了案件未完了タスクテーブル (imw\_t\_actv\_task)**  
 次に処理するワークフローのタスクが格納されるテーブルです。  
 処理待ちとなっているノードのタスクの情報が登録されます。

IM-Workflow の処理は、差戻後の承認のように、同一ノードに対して複数回処理できます。  
 タスクテーブルには、ノード上で行われた処理がタスクとして登録されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
開始日 (start_date)	タスクが登録された日時です。

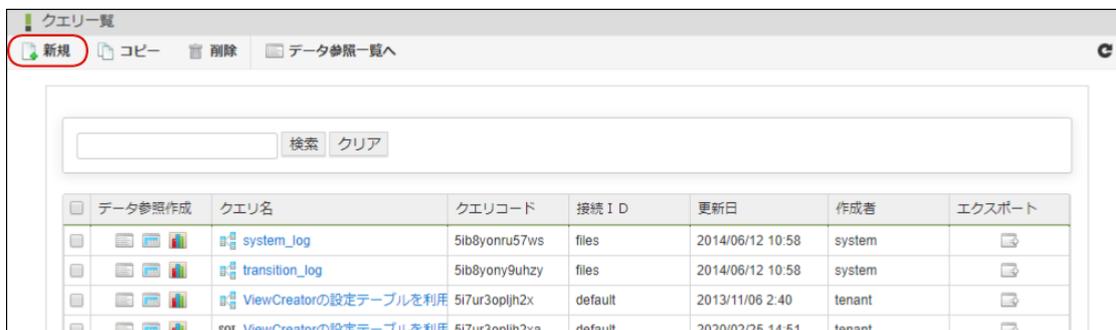
**i** コラム

テーブル定義情報の詳細は、「IM-Workflow テーブル定義書」を参照してください。

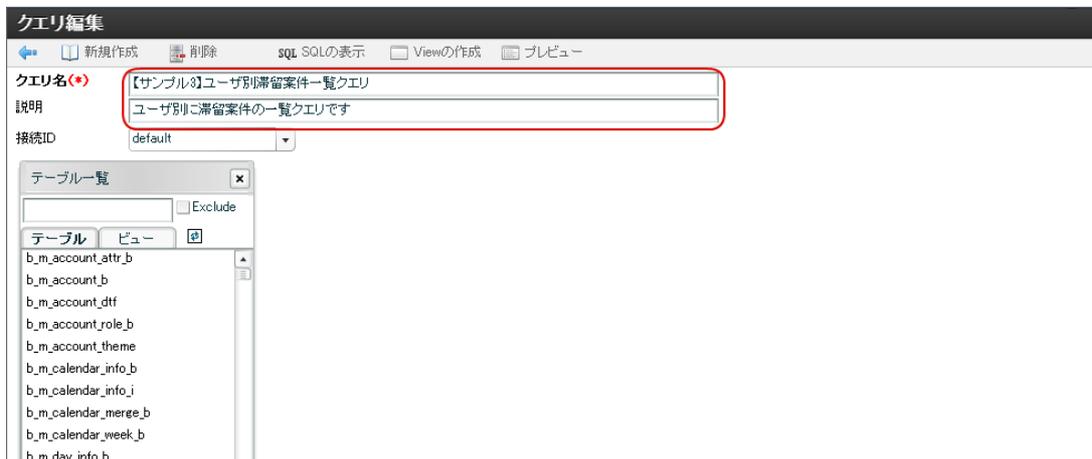
## クエリを作成する

IM-Workflow の未完了案件に対するクエリを作成します。

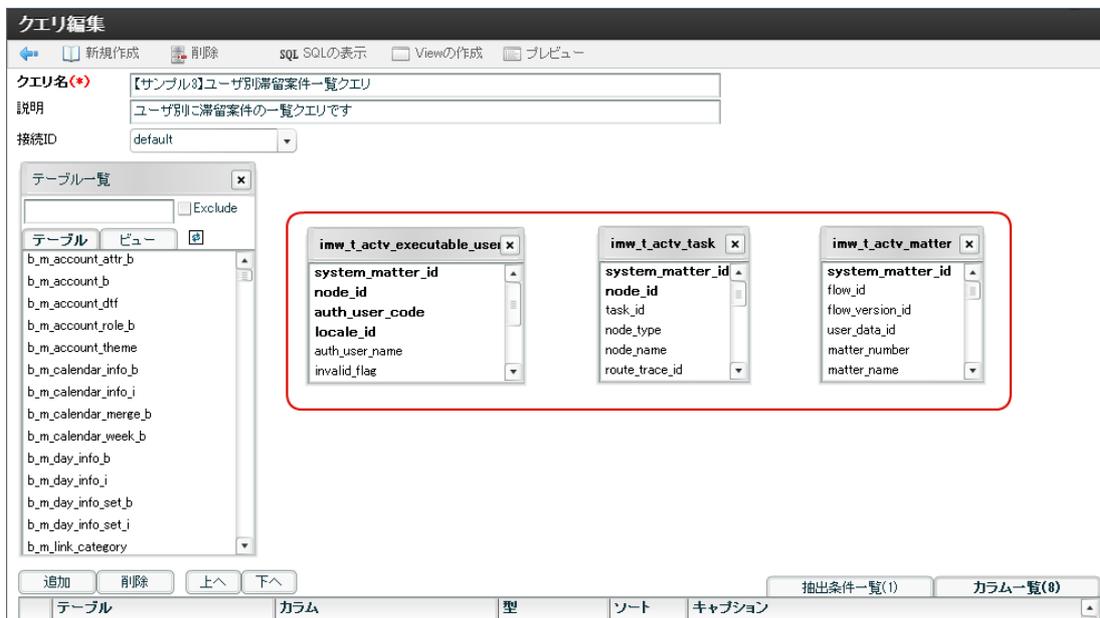
1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリー一覧」をクリックします。
2. 「クエリー一覧」で「新規」をクリックします。



3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

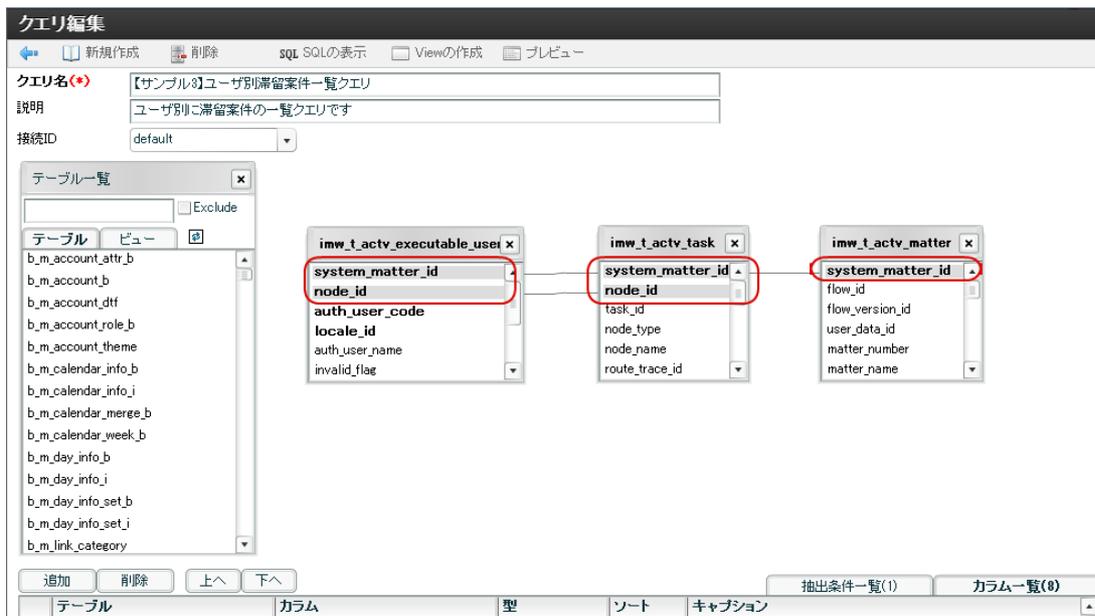


4. 「テーブル一覧」から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。
  - imw\_t\_actv\_executable\_user
  - imw\_t\_actv\_task
  - imw\_t\_actv\_matter



5. 配置したテーブルを下記の通りに結合します。

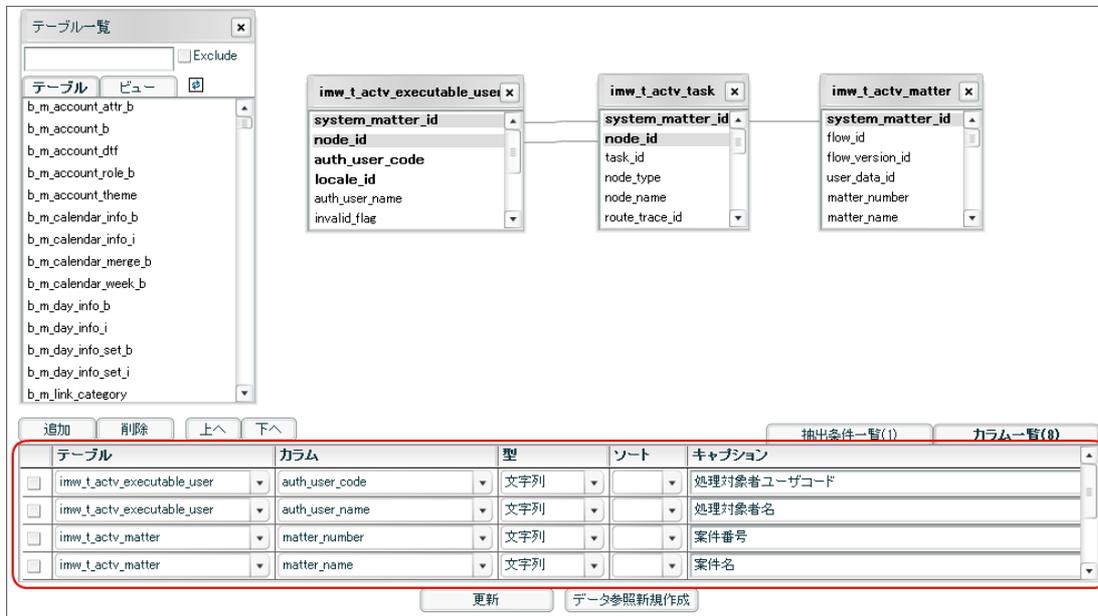
- imw\_t\_actv\_executable\_user、imw\_t\_actv\_task
  - システム案件ID (system\_matter\_id)
  - ノードID (node\_id)
- imw\_t\_actv\_task、imw\_t\_actv\_matter
  - システム案件ID (system\_matter\_id)



6. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。

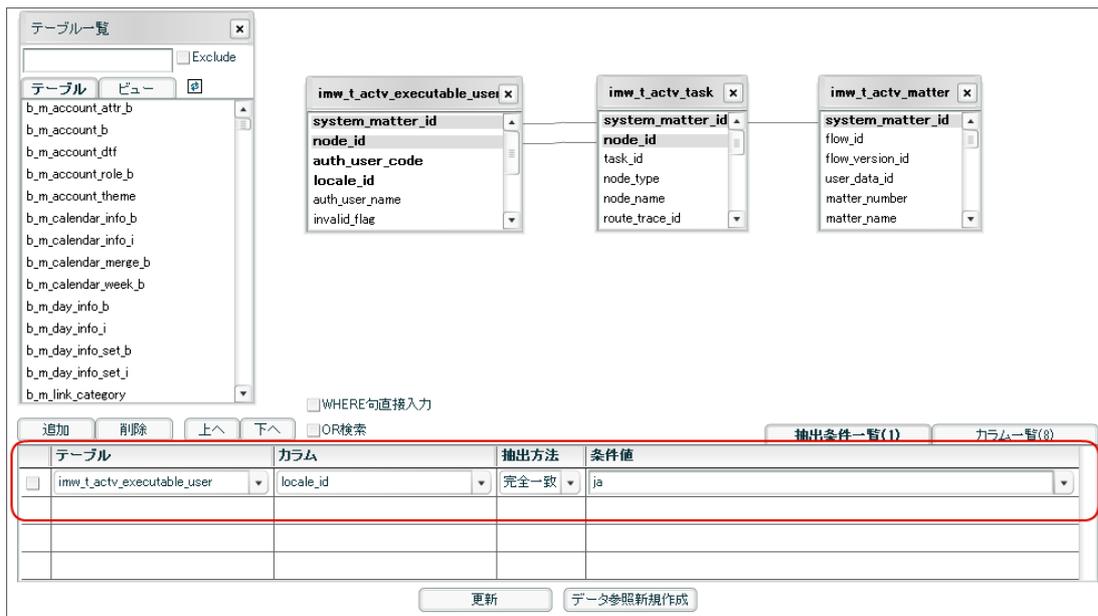
一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imw\_t\_actv\_executable\_user
  - 処理対象者ユーザコード (auth\_user\_code)
  - 処理対象者ユーザ名 (auth\_user\_name)
- imw\_t\_actv\_task
  - ノード名 (node\_name)
- imw\_t\_actv\_matter
  - 案件番号 (matter\_number)
  - 案件名 (matter\_name)

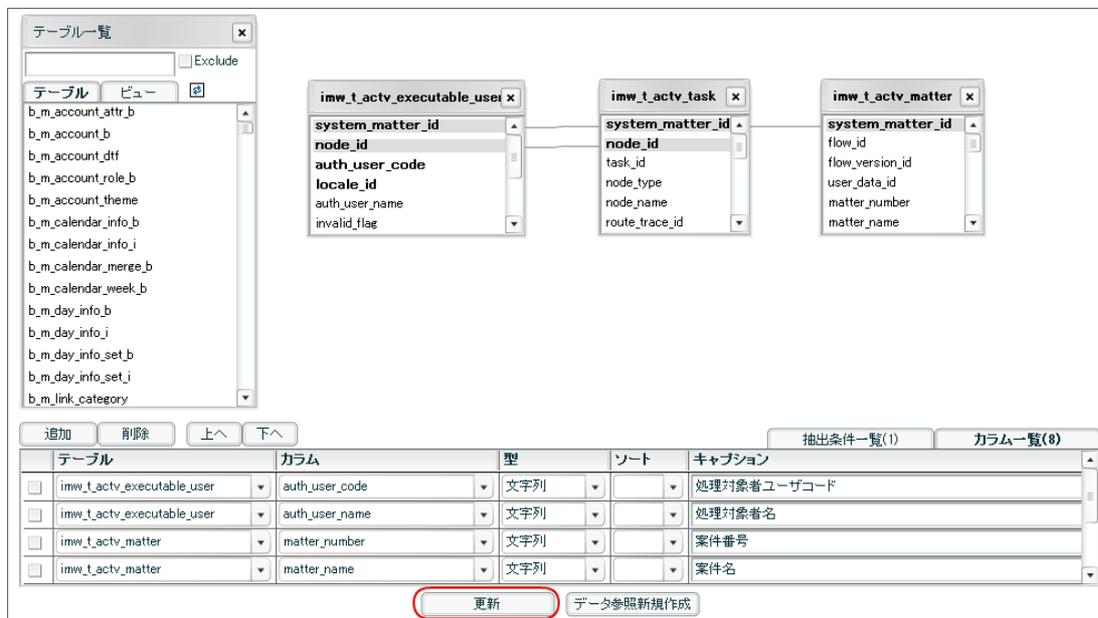


7. 「抽出条件一覧」に以下を追加します。

検索カラム	検索条件
ロケールID (locale_id)	ja 日本語を検索



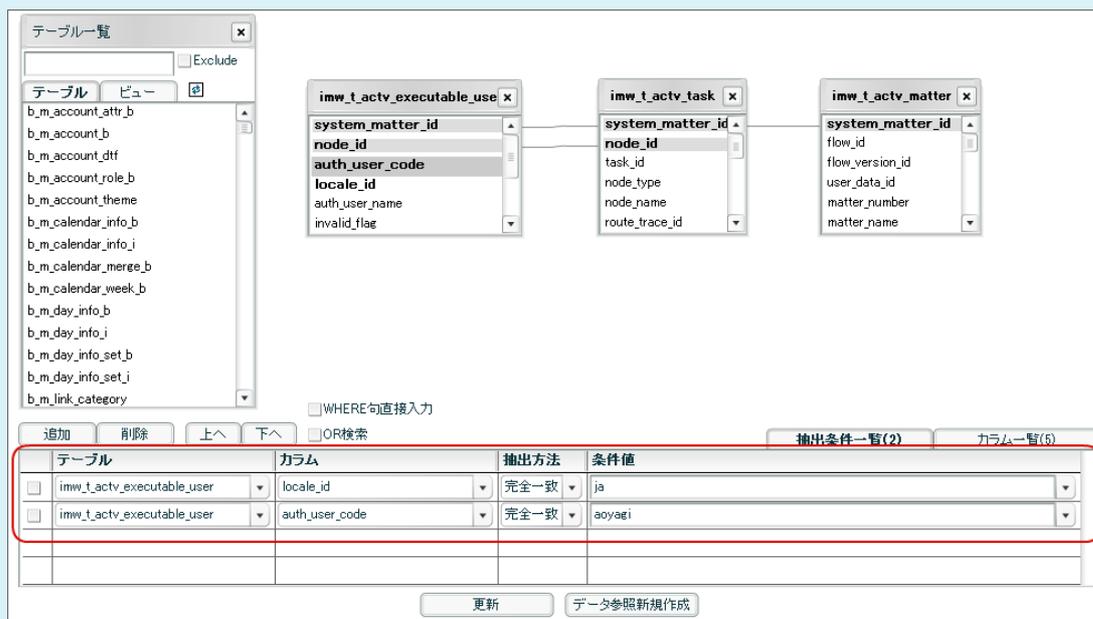
8. 追加が終わったら「登録」をクリックします。



9. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

### **i** コラム

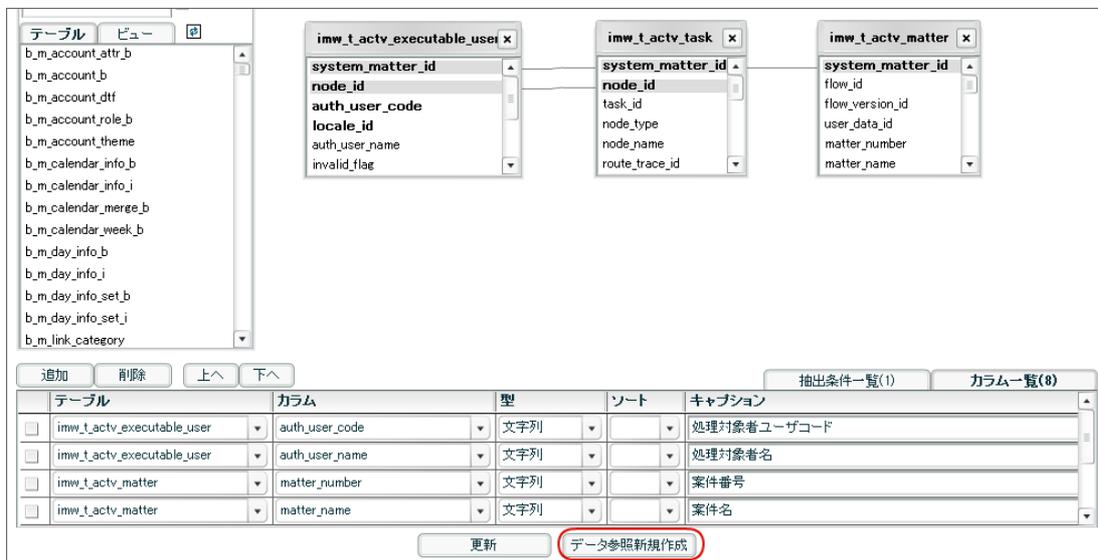
案件数が多くリスト集計の表示に時間がかかる場合は、抽出条件を設定することで改善する可能性があります。「抽出条件一覧」で処理対象者名を条件に追加すると、リストに表示する案件のデータ数を制限できます。



## リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

- クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。



2. データ参照名などの情報を入力します。



3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。  
 数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。  
 また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。



4. ユーザを検索できるように「検索設定」を以下のように設定します。

### i コラム

「検索設定」を設定しない場合、リスト集計の表示に時間がかかる可能性があります。  
リスト集計の表示に時間がかかる場合は、「検索設定」の設定をするようにお願いします。

1. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。

2. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

### i コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照してください。

## サンプル4 処理対象者が不在の案件一覧を作成する

処理対象者が不在の案件の一覧を作成します。

- [このサンプルについて](#)
- [このサンプルで参照するテーブルの情報](#)
- [クエリを作成する](#)
- [リスト集計画面を作成する](#)

### このサンプルについて

このサンプルでは、処理対象者が不在で、案件を完了できなくなった案件の一覧を確認できます。

**【サンプル4】処理対象者が不在案件一覧**

処理対象者が不在のノード一覧を表示

フロー名	フローID	システム案件ID	案件番号	案件名	ノードID	ノード名
【サンプル】住所変更申請	5ieopy9hhimu5a5	ma_5ieopy9jw5p0ja5	0000000021	【サンプル】住所変更申請	gkfmvojdv6xex0	承認/処理

処理中のノードの処理対象者に該当するユーザが存在しないために完了できない案件を確認することができます。これらの案件について、案件を完了させるためには、別途対応を行う必要があります。

### このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- 未完了案件タスク処理対象者テーブル (imw\_t\_actv\_executable\_user)**  
 処理対象者情報を格納するテーブルです。  
 未完了案件未完了タスクテーブルで処理待ちとなっているタスクに対する処理対象者情報が格納されます。

コラム	説明
システム案件ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
ロケールID (locale_id)	ロケールを一意に特定するためのIDです。
権限者名 (auth_user_name)	処理対象者名です。

- 未完了案件テーブル (imw\_t\_actv\_matter)**  
 未完了案件情報を格納するテーブルです。  
 案件毎に1レコード作成されます。  
 作成されたレコードは、案件が完了すると削除され、完了案件テーブル (imw\_t\_cpl\_matter) に対応するレコードが作成されます。

コラム	説明
システム案件ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
フローID (flow_id)	フロー定義を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID (insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのIDです。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するコラムです。
案件番号 (matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日 (apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 未完了案件未完了タスクテーブル (imw\_t\_actv\_task)**  
 次に処理するワークフローのタスクが格納されるテーブルです。  
 処理待ちとなっているノードのタスクの情報が登録されます。  
 IM-Workflow の処理は、差戻後の承認のように、同一ノードに対して複数回処理できます。  
 タスクテーブルには、ノード上で行われた処理がタスクとして登録されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
開始日 (start_date)	タスクが登録された日時です。

- 未完了案件案件ロケールテーブル (imw\_t\_actv\_matter\_locale)  
ロケール毎に保持する情報を格納するテーブルです。  
申請時点でロケール毎に1レコード作成されます。  
フロー名を取得するために利用します。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ロケールID (locale_id)	ロケールを一意に特定するためのID です。
フロー名 (flow_name)	フロー名です。



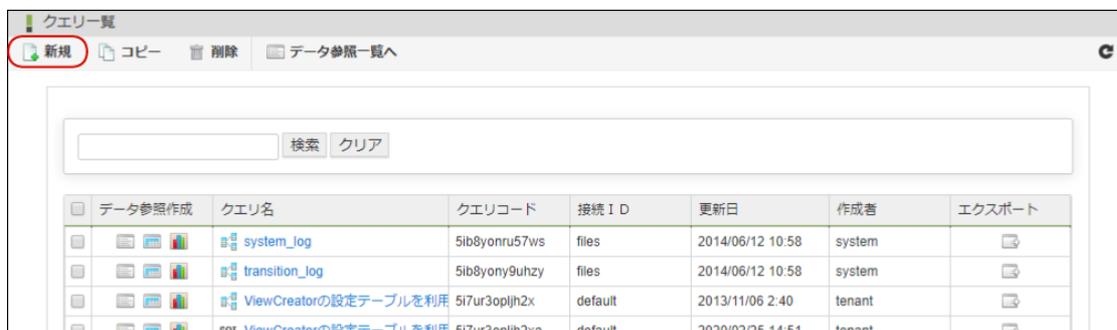
### コラム

テーブル定義情報の詳細は、「IM-Workflow テーブル定義書」を参照してください。

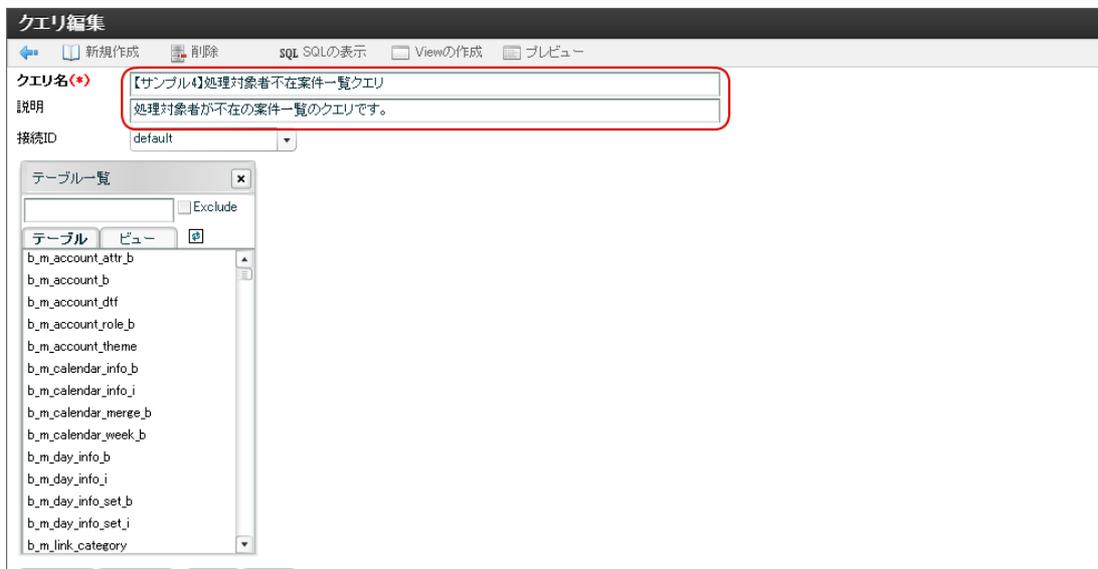
## クエリを作成する

IM-Workflow の未完了案件に対するクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリ一覧」をクリックします。
2. 「クエリ一覧」で「新規」をクリックします。

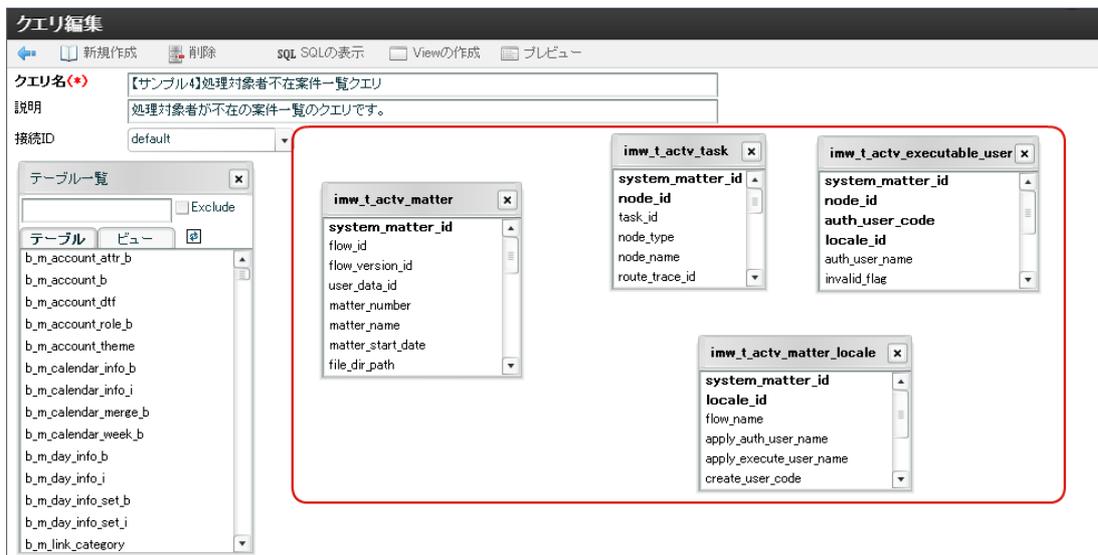


3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。



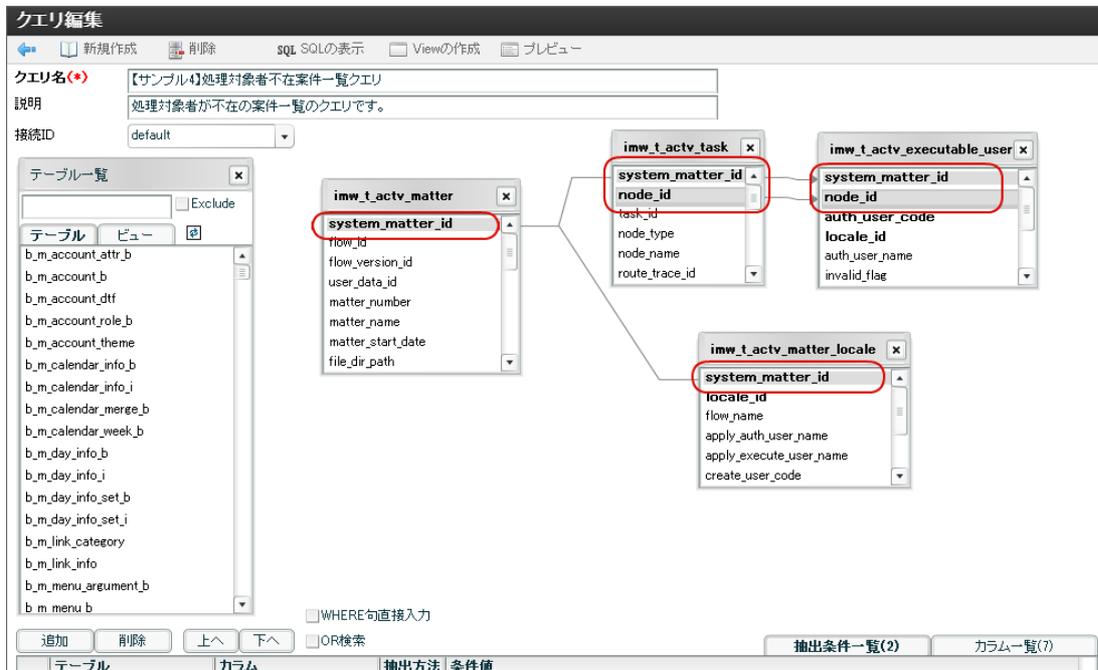
4. 「テーブル一覧」 から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。

- imw\_t\_actv\_executable\_user
- imw\_t\_actv\_task
- imw\_t\_actv\_matter
- imw\_t\_actv\_matter\_locale



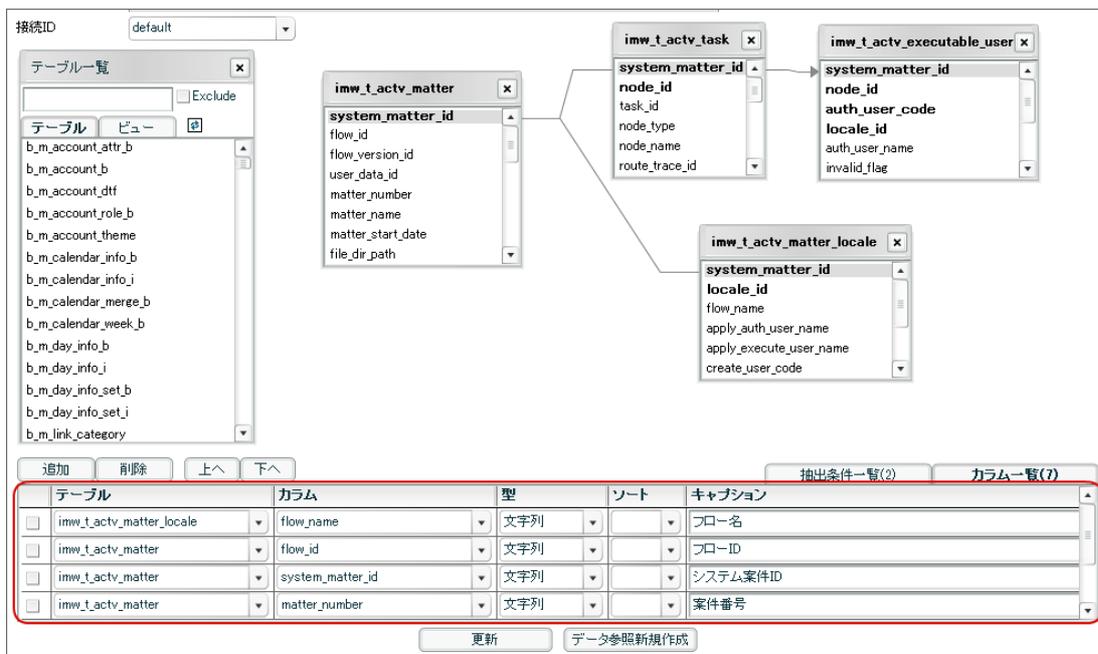
5. 配置したテーブルを下記の通りに結合します。

- imw\_t\_actv\_matter、 imw\_t\_actv\_task
  - システム案件ID (system\_matter\_id)
- imw\_t\_actv\_executable\_user、 imw\_t\_actv\_task
  - (左結合で結合)
  - システム案件ID (system\_matter\_id)
  - ノードID (node\_id)
- imw\_t\_actv\_matter、 imw\_t\_actv\_matter\_locale
  - システム案件ID (system\_matter\_id)



6. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。  
 一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imw\_t\_actv\_matter\_locale
  - フロー名 (flow\_name)
- imw\_t\_actv\_task
  - ノード名 (node\_name)
  - ノードID (node\_id)
- imw\_t\_actv\_matter
  - システム案件ID (system\_matter\_id)
  - フローID (flow\_id)
  - 案件番号 (matter\_number)
  - 案件名 (matter\_name)



7. 「抽出条件一覧」に以下を追加します。

検索カラム	検索条件
ロケールID (locale_id)	ja 日本語を検索

検索カラム

検索条件

処理対象者コード  
(auth\_user\_code)

<%NULL%>  
処理対象者が不在の場合はレコード無

The screenshot shows the ViewCreator interface with several table panes and a search criteria table. The search criteria table is highlighted with a red box and contains the following data:

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
imw_t_actv_executable_user	auth_user_code	完全一致	<%NULL%>
imw_t_actv_matter_locale	locale_id	完全一致	ja

8. 追加が終わったら「登録」をクリックします。

The screenshot shows the ViewCreator interface after the search criteria have been added. The '登録' (Register) button at the bottom center of the search criteria table is highlighted with a red box.

9. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

**i** コラム

案件数が多くリスト集計の表示に時間がかかる場合は、抽出条件を設定することで改善する可能性があります。「抽出条件一覧」でフローIDを条件に追加すると、リストに表示する案件のデータ数を制限できます。また、フローIDを条件に追加して改善しない場合、該当カラムにインデックスの設定を検討してください。

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
imw_t_actv_executable_user	auth_user_code	完全一致	<XNULLX>
imw_t_actv_matter_locale	locale_id	完全一致	ja
imw_t_actv_matter	flow_id	完全一致	5ieopy9hhImu5a5

リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

- クエリが登録された後に、「登録」(更新)の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imw_t_actv_matter_locale	flow_name	文字列		フロー名
imw_t_actv_matter	flow_id	文字列		フローID
imw_t_actv_matter	system_matter_id	文字列		システム案件ID
imw_t_actv_matter	matter_number	文字列		案件番号

- データ参照名などの情報を入力します。

データ参照・編集リスト/サマリ集計

← 削除 フルビュー

データ参照設定

データ参照コード\* viewcreator\_sample4

データ参照名\* 【サンプル4】処理対象者不在案件一覧

国際化データ

クエリ名 【サンプル4】処理対象者不在案件一覧クエリ

集計パターン リスト

説明

エクスポート機能の利用  利用する

表示設定

枠線  枠線を表示する

1行おきの背景色

表全体の幅 600px

ヘッダー行の改行  改行する

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。  
数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。  
また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フロー名(flow_name)		<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
▲▼ フローID(flow_id)		<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ システム案件ID(system_matter_id)		<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
▲▼ 案件番号(matter_number)		<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
▲▼ 案件名(matter_name)		<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ ノードID(node_id)		<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ ノード名(node_name)		<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		

4. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。

フッター

fx

フォント フォントの大きさ

パス:

国際化データ

ゲストユーザ 認証済みユーザ

登録して一覧へ戻る

5. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

**i** コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定」を参照してください。

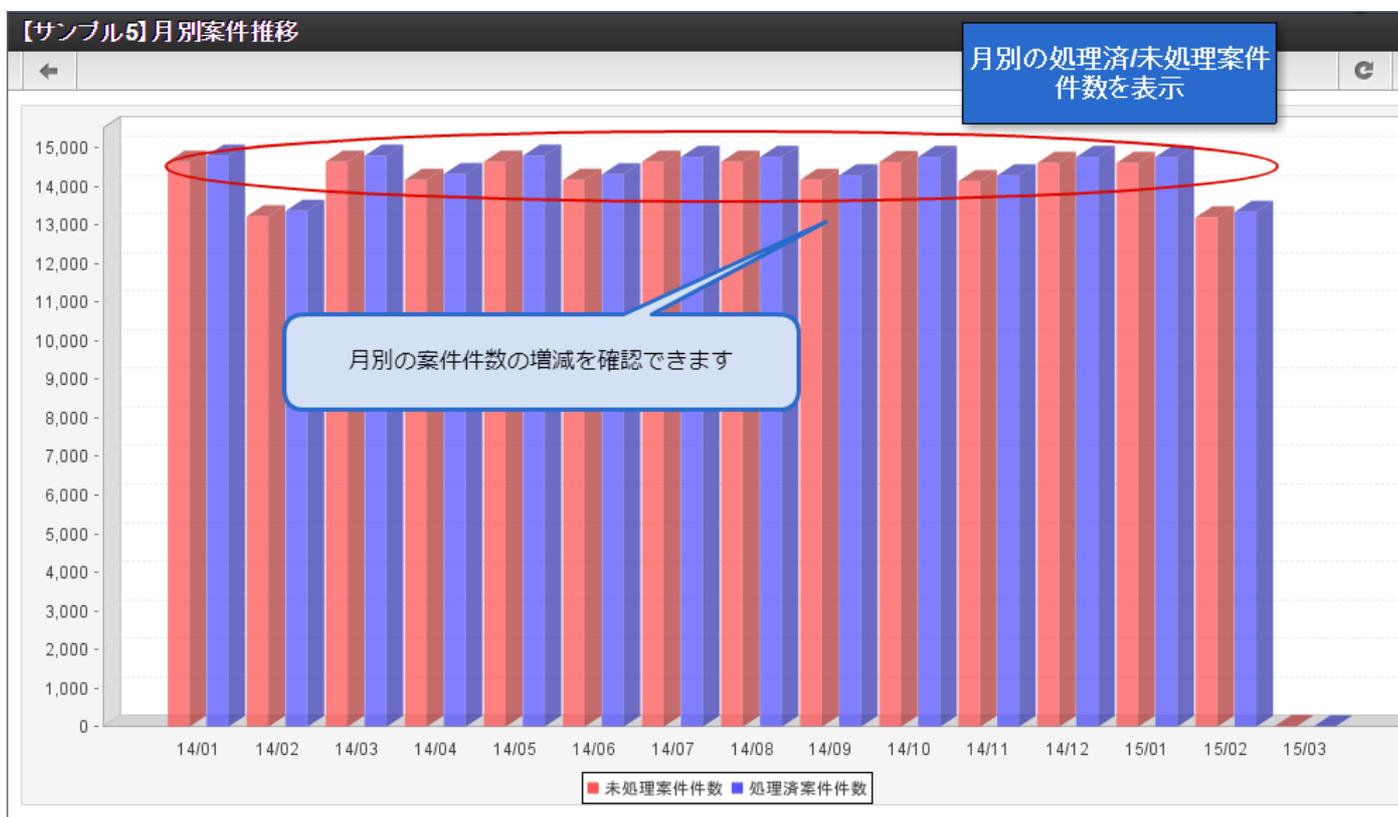
## サンプル5 月別の案件推移グラフを作成する

月別の案件推移グラフを作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルで参照するテーブルの情報
- クエリを作成する
- グラフ集計画面を作成する

### このサンプルについて

このサンプルでは、月別の案件処理件数の推移を確認できます。  
対象は全フローの完了、未完了案件です。



### このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- 未完了案件テーブル (imw\_t\_actv\_matter)  
未完了案件情報を格納するテーブルです。  
案件毎に1レコード作成されます。  
作成されたレコードは、案件が完了すると削除され、完了案件テーブル (imw\_t\_cpl\_matter) に対応するレコードが作成されます。

コラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
フローID (flow_id)	フロー定義を一意に特定するためのIDです。

カラム	説明
ユーザデータID (insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのIDです。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
案件番号 (matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日 (apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 完了案件テーブル (imw\_t\_cpl\_matter)  
完了案件情報を格納するテーブルです。  
案件毎に1レコード作成されます。

カラム	説明
システム案件ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID (insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのIDです。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
案件番号 (matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日 (apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 月別案件数ビュー (imw\_v\_matter)  
月別の未処理、処理済案件数を表示するビューです。  
「[サンプル5 月別案件推移グラフ](#)」よりDDLをダウンロードして、ご利用の環境のDBに登録してください。

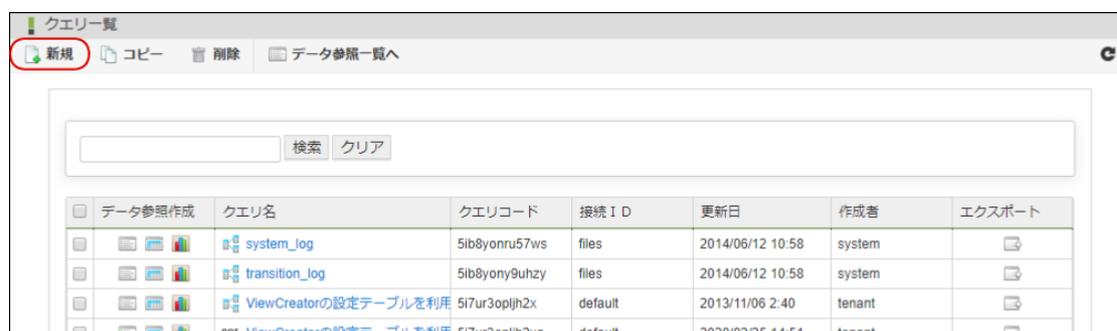
### コラム

テーブル定義情報の詳細は、「[IM-Workflow テーブル定義書](#)」を参照してください。

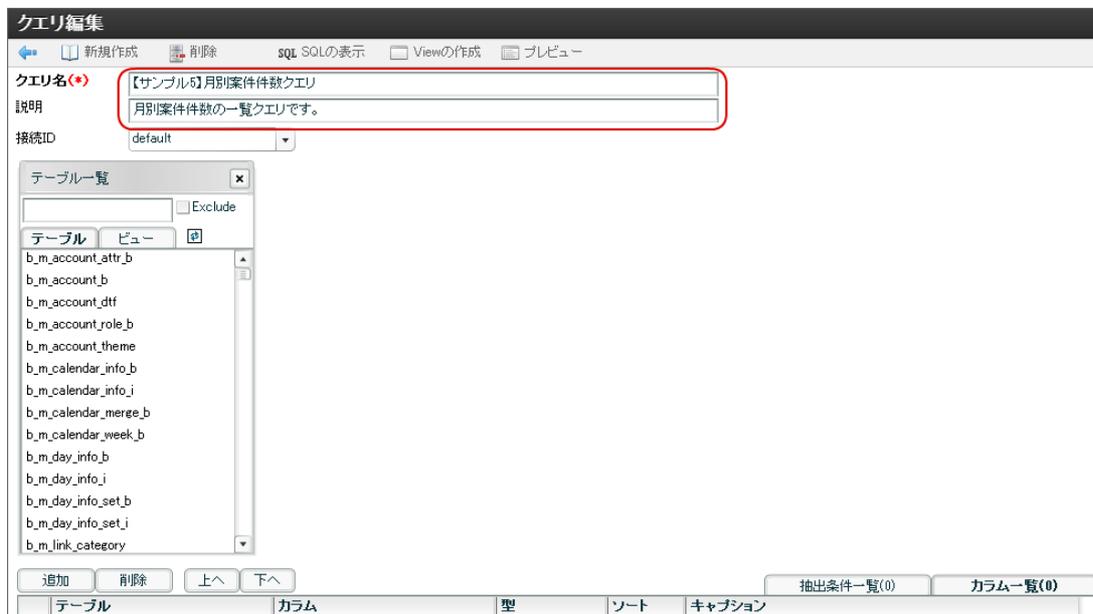
## クエリを作成する

IM-Workflow の完了案件、未完了案件に対するクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリー一覧」をクリックします。
2. 「クエリー一覧」で「新規」をクリックします。

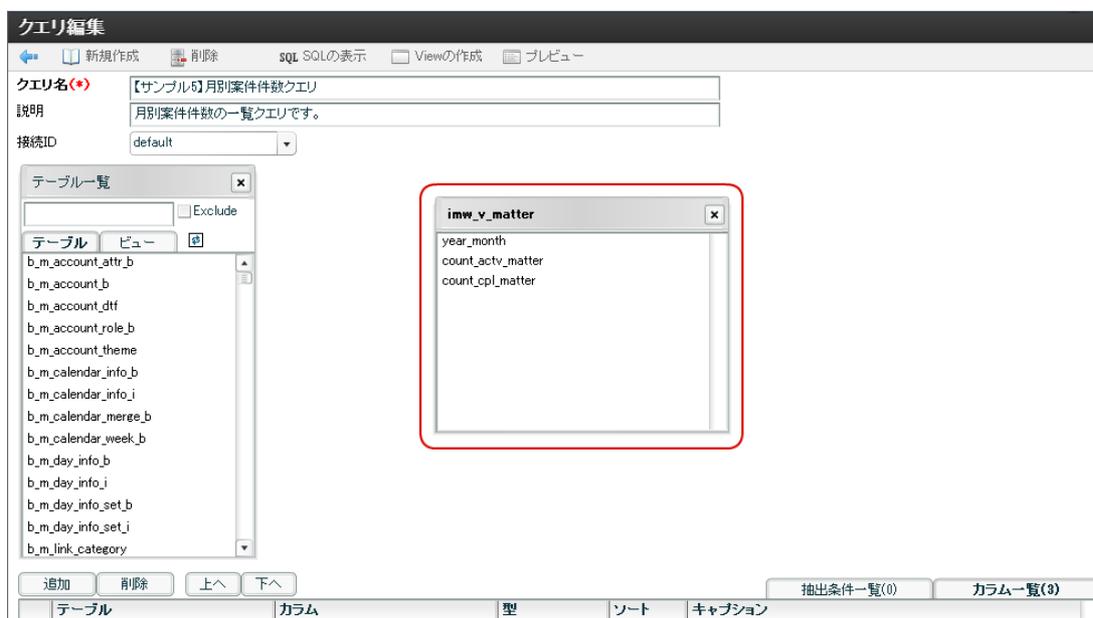


3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。



4. 「テーブル一覧」のビュータブから下記のビューを検索し、ドラッグして右側に配置します。

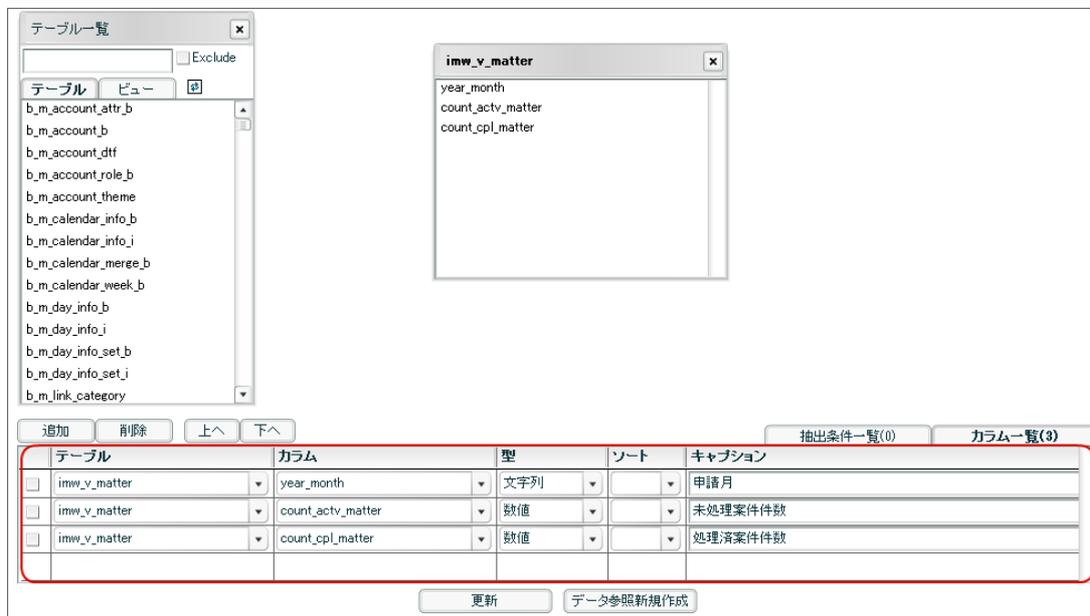
- imw\_v\_matter



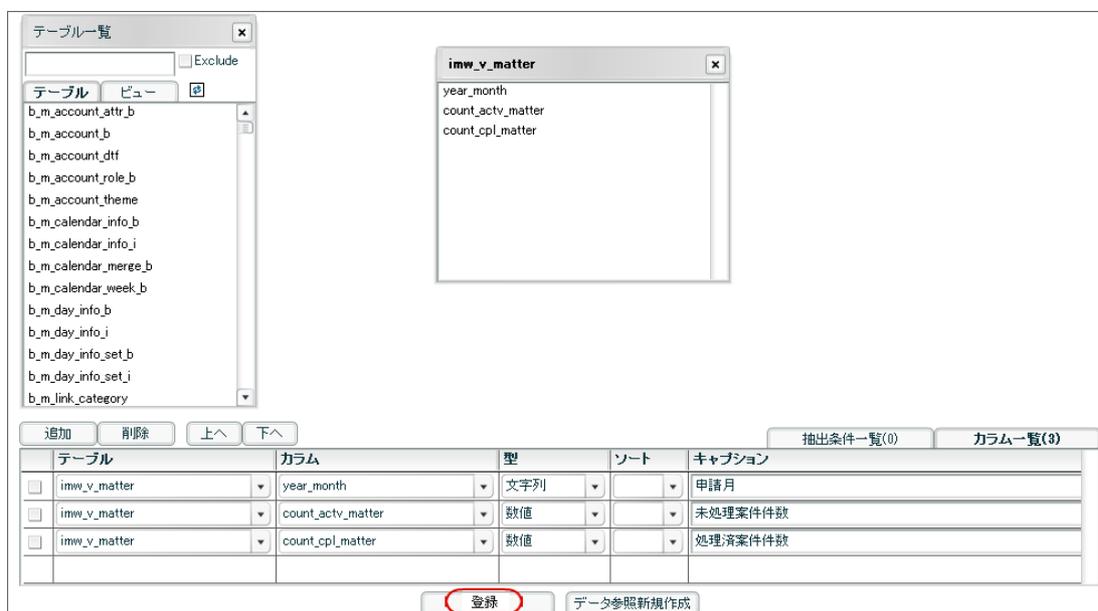
5. 「カラム一覧」に下記のカラムを追加します。

一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imw\_v\_matter
  - 申請月 (year\_month)
  - 未処理案件件数 (count\_actv\_matter)
  - 処理済案件件数 (count\_cpl\_matter)



6. 追加が終わったら「登録」をクリックします。



7. 以上で、グラフ集計のベースとなるクエリが作成できました。

**i コラム**  
 案件数が多くグラフ集計の表示に時間がかかる場合は、バッチ処理にてビューで表示している月別案件件数を、別テーブルに格納することを検討してください。

## グラフ集計画面を作成する

作成したクエリから「グラフ集計」を作成します。

1. 「クエリー一覧」 - 「データ参照作成」から、「」をクリックします。



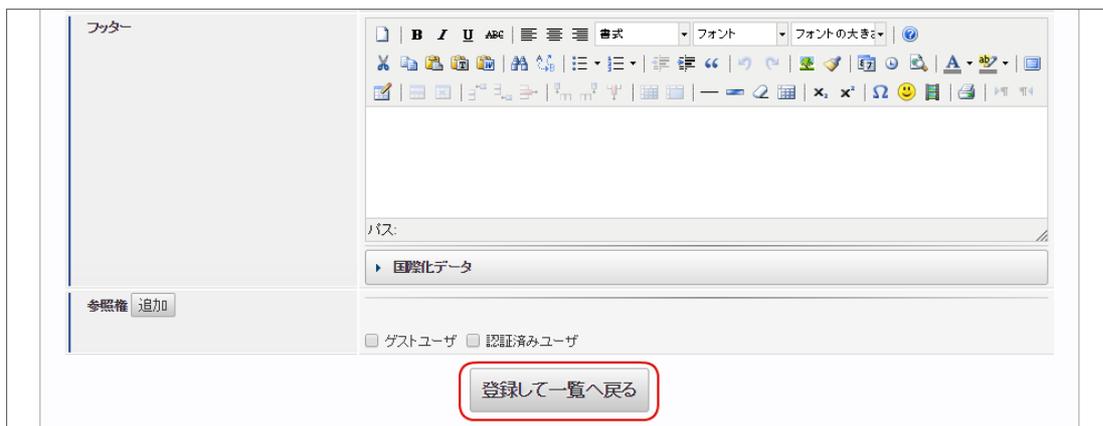
2. データ参照名などの情報を入力します。



3. グラフに凡例を表示するために、「凡例ラベルカラム」を設定します。



4. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、グラフ集計画面（データ参照）を保存します。



5. 以上で、グラフ集計画面の作成が完了しました。

 コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照してください。

ViewCreator / IM-BIS を連携して活用する方法をご紹介します。

## サンプル6 BAM情報からノード別の平均作業時間の一覧を作成する

IM-BIS のBAM情報からノード別の平均作業時間の一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルでできること
- このサンプルで参照するテーブルの情報
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

### このサンプルについて

このサンプルでは、完了案件に対し、ノード毎の平均ウエイト時間、作業時間を算出します。

**【サンプル6】ノード別平均作業時間**

← CSV出力 ノード別の平均作業時間(秒)を表示

フローID	フロー名	ノードID	ノード名	ウエイト時間(平均)	作業時間(平均)
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請	6t9q20l0g16j9ix	承認	3.7	8.9
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請	9rgd4y9s8dud8th	申請	0	9.5
5ieoqec2z3dosa5	備品申請	cm2wfgb9bvyr0oi	承認/処理	2.2	8.1
5ieoqec2z3dosa5	備品申請	se9s7v4a5zojyrr	承認/処理	589	594.5
5ieoqec2z3dosa5	備品申請	npbab80qzb7n60	申請/処理開始	0	112.5
5ienqkooi53s8a5	稟議書	yi7qbgqbvisqqhv	承認/処理	21.2	54.9
5ienqkooi53s8a5	稟議書	8pdbm3ed1lkszo5	申請/処理開始	0	13
				59.9	85.2

どのノードが作業に時間がかかっているかを確認できます

### このサンプルでできること

- 各フローに対し、処理時間が長いノードを確認できます。
- 各フローに対し、処理の着手が遅いノードを確認できます。

### このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- BAM時間テーブル (imbis\_t\_bam\_time)  
処理者、処理開始日時、作業開始日時、処理終了日時の情報を格納するテーブルです。  
ワークフローのタスク単位に1レコード作成されます。

カラム	説明
処理実行者コード (exec_user_code)	処理実行者のユーザコードが格納されます。
処理開始日時 (process_start_time)	対象のタスク (ノード) に到達した時点の日時が格納されます。
作業開始日時 (task_start_time)	処理実行者が画面を表示した日時が格納されます。
処理終了日時 (process_end_time)	対象のタスク (ノード) の処理が終了した日時が格納されます。

- 完了案件テーブル (imw\_t\_cpl\_matter)  
完了案件情報を格納するテーブルです。  
案件毎に1レコード作成されます。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID (insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのIDです。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムです。
案件番号 (matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日 (apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 完了案件タスクテーブル (imw\_t\_cpl\_matter\_task)  
完了案件のワークフローのタスクが格納されるテーブルです。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
開始日 (start_date)	タスクが登録された日時です。

- 完了案件ロケールテーブル (imw\_t\_cpl\_matter\_locale)  
ロケール毎に保持する情報を格納するテーブルです。  
申請時点でロケール毎に1レコード作成されます。  
フロー名を取得するために利用します。

カラム	説明
システム案件 ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ロケールID (locale_id)	ロケールを一意に特定するためのIDです。
フロー名 (flow_name)	フロー名です。

- BAM処理時間ビュー (imbis\_v\_bam\_time)  
BAM時間テーブルからウエイト時間、処理時間を算出するビューです。  
ウエイト時間は、該当ノードの処理が可能になってから処理を開始するまでの時間に該当します。  
処理時間は、該当ノードの処理が可能になってから処理を完了するまでの時間に該当します。  
「[サンプル6 \(BAM情報\) ノード別平均作業時間](#)」よりDDLをダウンロードして、ご利用の環境のDBに登録してください。

### コラム

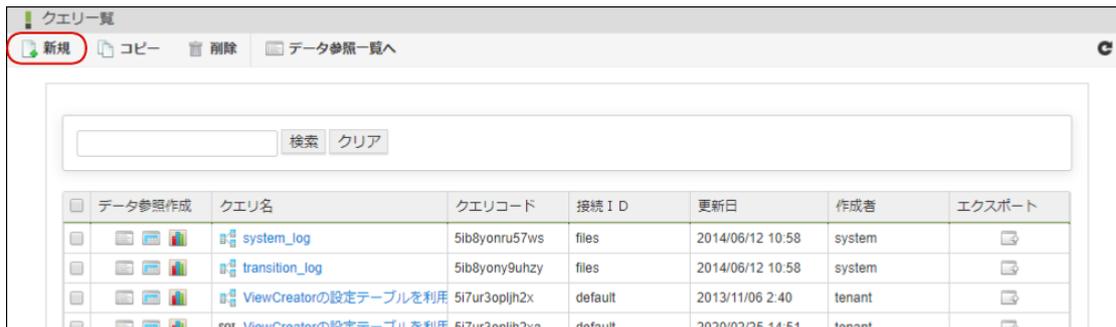
ワークフローのテーブル定義情報の詳細は、「[IM-Workflow テーブル定義書](#)」を参照してください。

### コラム

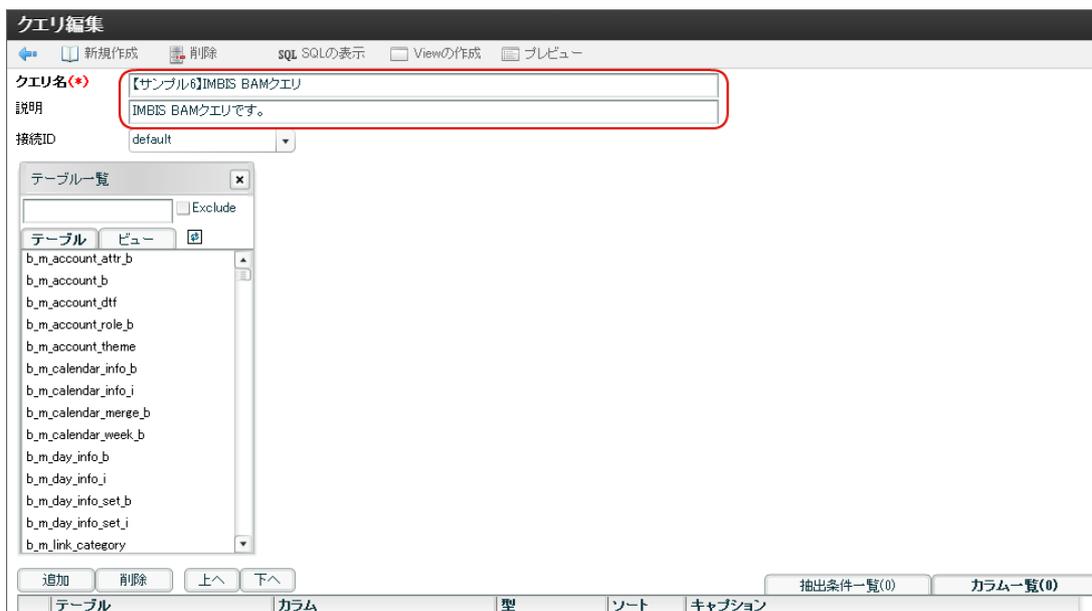
BAMのテーブル定義情報の詳細は、「[BAMのテーブル情報](#)」を参照してください。

IM-BIS のBAM情報に対してクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリ一覧」をクリックします。
2. 「クエリ一覧」で「新規」をクリックします。

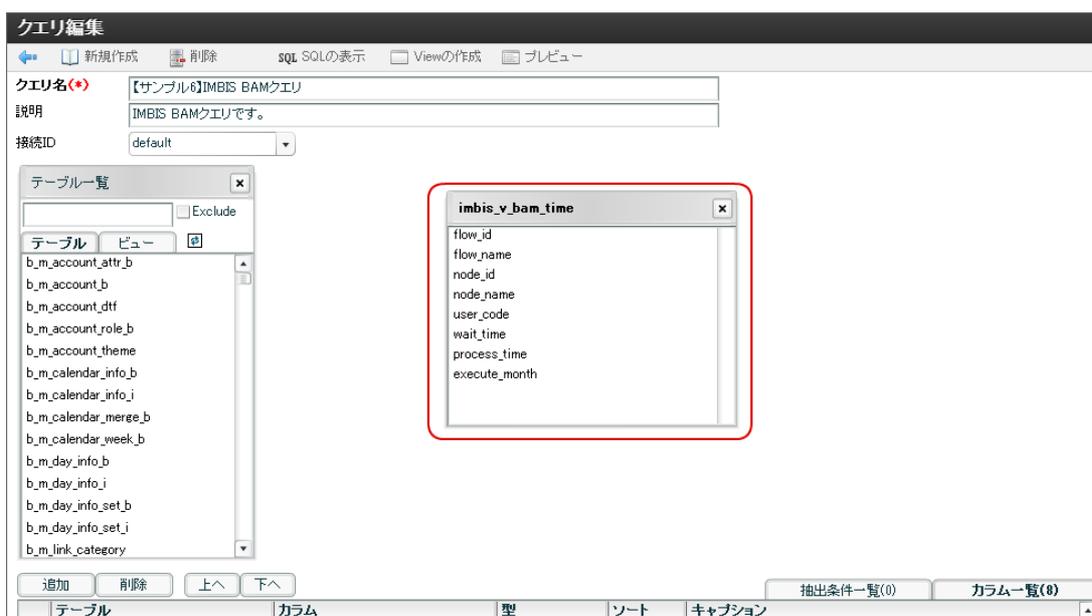


3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。



4. 「テーブル一覧」のビュータブから下記のビューを検索し、ドラッグして右側に配置します。

- imbis\_v\_bam\_time

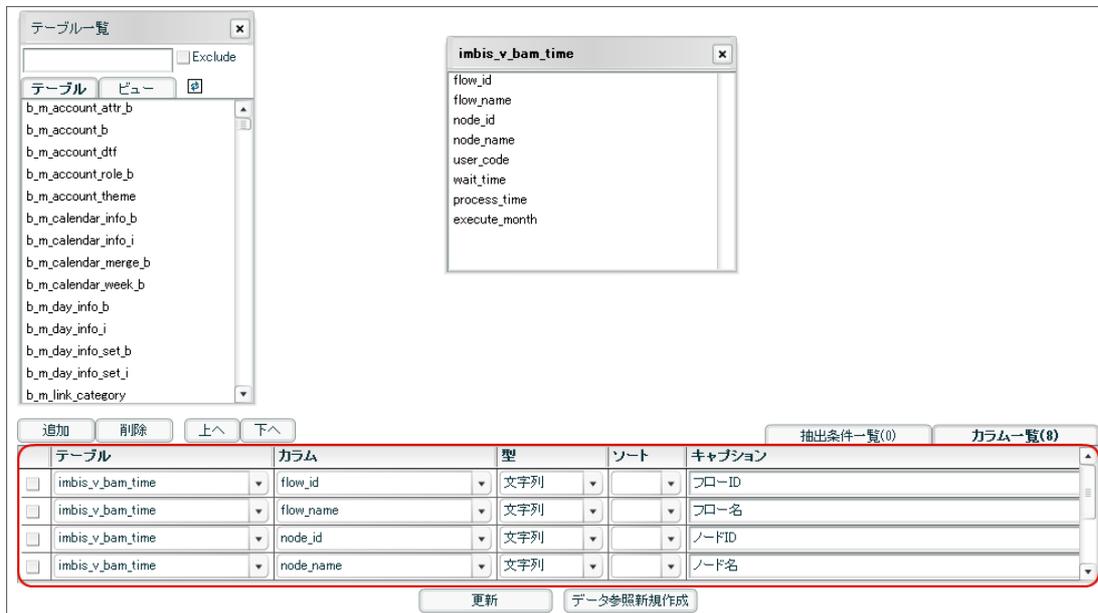


5. 「カラム一覧」に下記のカラムを追加します。

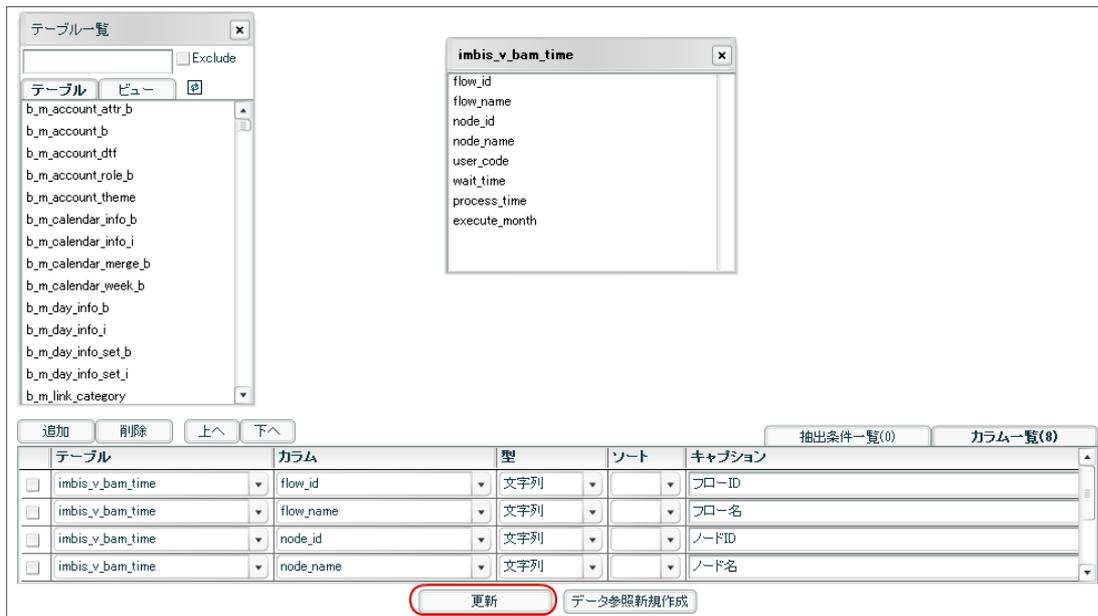
一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imbis\_v\_bam\_time
  - フローID (year\_month)

- フロー名 (flow\_name)
- ノードID (node\_id)
- ノード名 (node\_name)
- ユーザコード (user\_code)
- ウェイト時間 (wait\_time)
- 作業時間 (process\_time)
- 作業完了月 (execute\_month)



6. 追加が終わったら「登録」をクリックします。



7. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

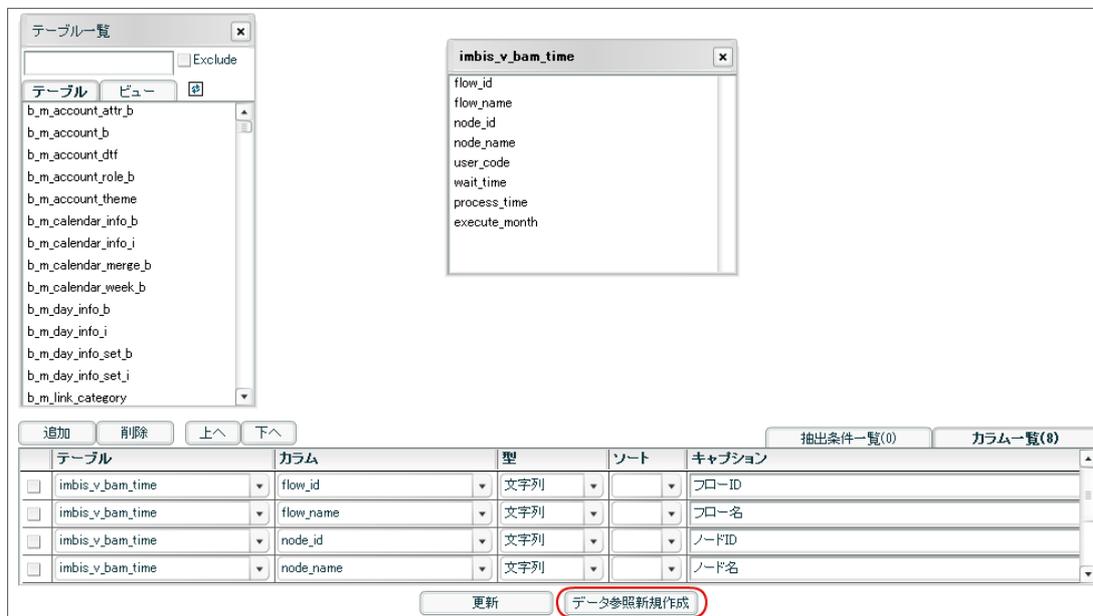
### **i** コラム

案件数が多くリスト集計の表示に時間がかかる場合は、バッチ処理にてビューで表示しているBAM処理時間を、別テーブルに格納することを検討してください。

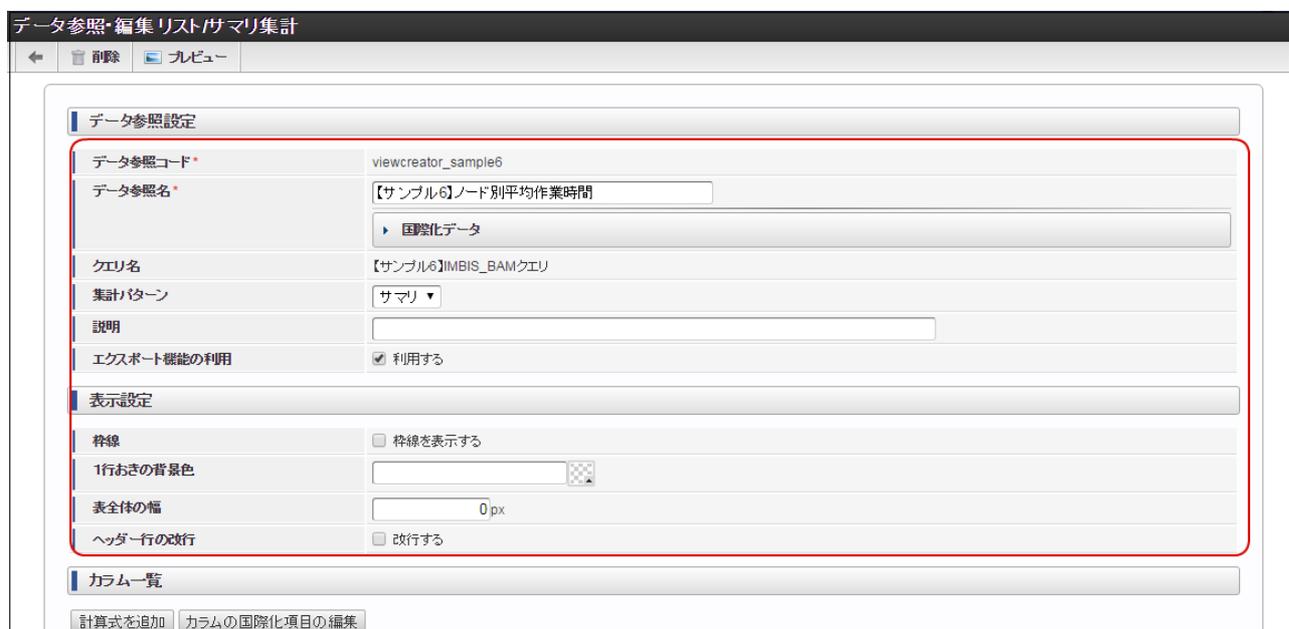
## リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

1. クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。



2. データ参照名などの情報を入力します。  
平均時間を算出するため、「集計パターン」を「サマリ」に変更します。



3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。  
数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。  
また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フローID(flow_id)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ フロー名(flow_name)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 ▼		
▲▼ ノードID(node_id)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ ノード名(node_name)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 ▼		
▲▼ ユーザコード(user_code)		<input type="checkbox"/>				
▲▼ ウェイト時間(wait_time)	平均 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	## 3桁 <a href="#">区切り</a>			 
▲▼ 作業時間(process_time)	平均 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	## 3桁 <a href="#">区切り</a>			 
▲▼ 作業完了月(execute_month)		<input type="checkbox"/>				

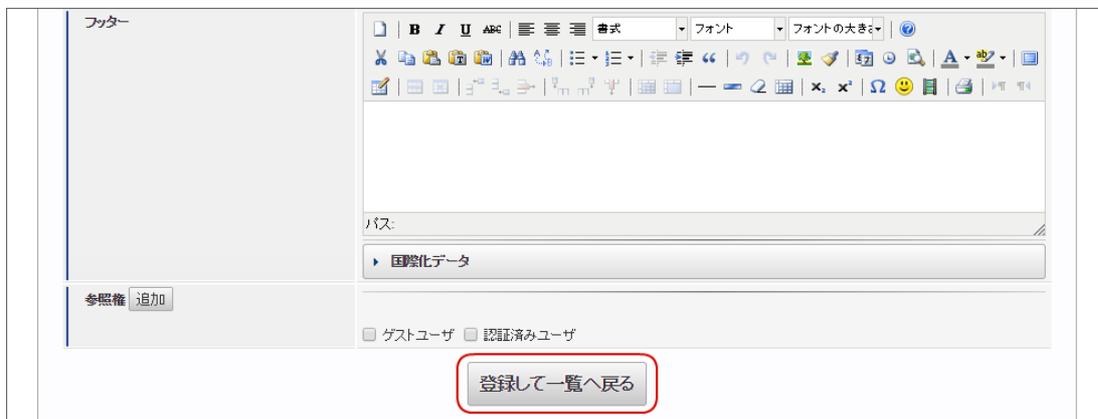
4. ノード単位平均を算出するため、「タイプ」を設定します。  
 フロー名、フローID、ノード名、ノードIDを「グループ化」に変更します。  
 ノード別に表示するため、「グループ化」対象の中で、ノード名を最も下の行となるように変更します。  
 ウェイト時間、作業時間を「平均」に変更します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フローID(flow_id)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ フロー名(flow_name)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 ▼		
▲▼ ノードID(node_id)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ ノード名(node_name)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 ▼		
▲▼ ユーザコード(user_code)		<input type="checkbox"/>				
▲▼ ウェイト時間(wait_time)	平均 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	## 3桁 <a href="#">区切り</a>			 
▲▼ 作業時間(process_time)	平均 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	## 3桁 <a href="#">区切り</a>			 
▲▼ 作業完了月(execute_month)		<input type="checkbox"/>				

**i** コラム

「表示設定」で、処理時間が長いカラムの文字色変更や表示非表示等の設定できます。  
 詳細な設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

1. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。



2. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

**i コラム**

作成した画面の参照権限の設定方法は、「ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定」を参照してください。

## サンプル7 BAM情報から担当者別の平均作業時間の一覧を作成する

IM-BIS のBAM情報から担当者別の平均作業時間の一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルでできること
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

### このサンプルについて

このサンプルでは、完了案件に対し、担当者毎の平均ウエイト時間、作業時間を算出します。

**【サンプル7】担当者別平均作業時間**

担当者別の平均作業時間(秒)を表示

フローID	フロー名	ノードID	ノード名	ユーザコード	ウエイト時間(平均)	処理時間(平均)
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フロー-A	6t9q20l0g16j9ix	タスク1	aoyagi	0	114.7
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フロー-A	6t9q20l0g16j9ix	タスク1	ikuta	0	275.4
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フロー-A	9rgd4y9s8dud8th	タスク2	katayama	1526	300.6
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】稟議書	yi7qbgqbvisqqhv	上長承認	katayama	370	16.6
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】稟議書	yi7qbgqbvisqqhv	上長承認	maruyama	400	31.8
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】稟議書	8pdbm3ed1lskzo5	申請	aoyagi	0	28
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】稟議書	8pdbm3ed1lskzo5	申請	ikuta	0	29
					312	103.2

どの担当者が作業に時間がかかっているかを確認できます

### このサンプルでできること

- 各フローに対し、処理時間が長い担当者を確認できます。
- 各フローに対し、処理の着手が遅い担当者を確認できます。

### クエリを作成する

サンプル6と同様のクエリを利用します。

作成方法は、「クエリを作成する」を参照してください。

## リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

- クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。



- データ参照名などの情報を入力します。  
平均時間を算出するため、「集計パターン」を「サマリ」に変更します。



- 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。  
数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。  
また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フローID(flow_id)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ フロー名(flow_name)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 ▼		
▲▼ ノードID(node_id)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ ノード名(node_name)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 ▼		
▲▼ ユーザコード(user_code)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 ▼		
▲▼ ウェイト時間(wait_time)	平均 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	## 区切り	3桁 ▼		 
▲▼ 作業時間(process_time)	平均 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	## 区切り	3桁 ▼		 
▲▼ 作業完了月(execute_month)		<input type="checkbox"/>				

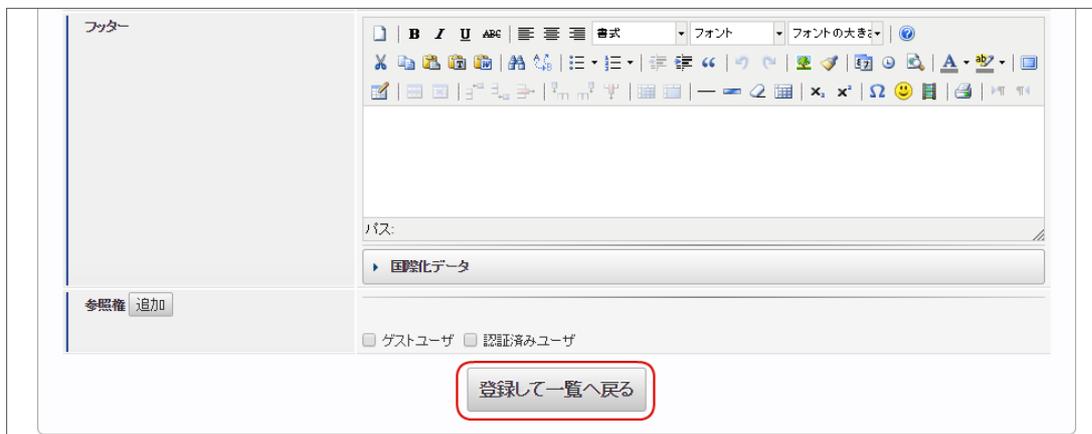
4. 担当者単位平均を算出するため、「タイプ」を設定します。  
 フロー名、フローID、ノード名、ノードID、ユーザコードを「グループ化」に変更します。  
 ユーザ別に表示するため、「グループ化」対象の中で、ユーザコードを最も下の行となるように変更します。  
 ウェイト時間、作業時間を「平均」に変更します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フローID(flow_id)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ フロー名(flow_name)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 ▼		
▲▼ ノードID(node_id)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ ノード名(node_name)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 ▼		
▲▼ ユーザコード(user_code)	グループ化 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 ▼		
▲▼ ウェイト時間(wait_time)	平均 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	## 区切り	3桁 ▼		 
▲▼ 作業時間(process_time)	平均 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	## 区切り	3桁 ▼		 
▲▼ 作業完了月(execute_month)		<input type="checkbox"/>				

**i** コラム

「表示設定」で、処理時間が長いカラムの文字色変更や表示非表示等の設定できます。  
 詳細な設定方法は、「ViewCreator 管理者操作ガイド」を参照してください。

1. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。



2. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

**i コラム**

作成した画面の参照権限の設定方法は、「ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定」を参照してください。

## サンプル8 BAM情報から月別の平均作業時間の一覧を作成する

IM-BIS のBAM情報から月別の平均作業時間の一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルでできること
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

### このサンプルについて

このサンプルでは、完了案件に対し、月別の平均ウエイト時間、作業時間を算出します。

**【サンプル8】月別平均作業時間**

← CSV出力 月別の平均作業時間(秒)を表示

1	フローID	フロー名	ノードID	ノード名	作業完了月	ウエイト時間(平均)	処理時間(平均)
	5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フロー-A	6t9q20l0g16j9ix	タスク1	2014/10	0	155.6
	5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フロー-A	6t9q20l0g16j9ix	タスク1	2014/11	0	234.6
	5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フロー-A	9rgd4y9s8dud8th	タスク2	2014/10	1051	230.1
	5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フロー-A	9rgd4y9s8dud8th	タスク2	2014/11	2001	371
	5ienqkooi53s8a5	【サンプル】稟議書	yi7qbgqbvisqqhv	上長承認	2014/10	270	12
	5ienqkooi53s8a5	【サンプル】稟議書	yi7qbgqbvisqqhv	上長承認	2014/11	325	34.8
	5ienqkooi53s8a5	【サンプル】稟議書	yi7qbgqbvisqqhv	上長承認	2014/12	750.1	35
	5ienqkooi53s8a5	【サンプル】稟議書	8pdbm3ed1lskzo5	申請	2014/10	0	23.2
	5ienqkooi53s8a5	【サンプル】稟議書	8pdbm3ed1lskzo5	申請	2014/11	0	27.2
	5ienqkooi53s8a5	【サンプル】稟議書	8pdbm3ed1lskzo5	申請	2014/12	0	41
						24	103.2

月別に作業時間の相違を確認できます

### このサンプルでできること

- 各フローに対し、処理時間の月遷移での増減を確認できます。

### クエリを作成する

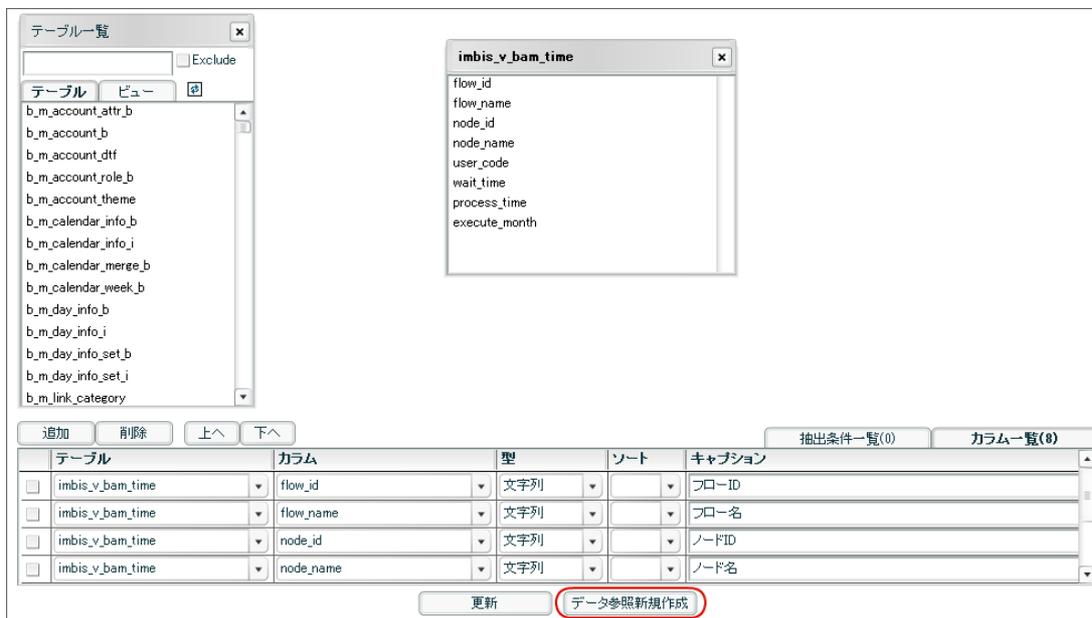
サンプル6と同様のクエリを利用します。

作成方法は、「クエリを作成する」を参照してください。

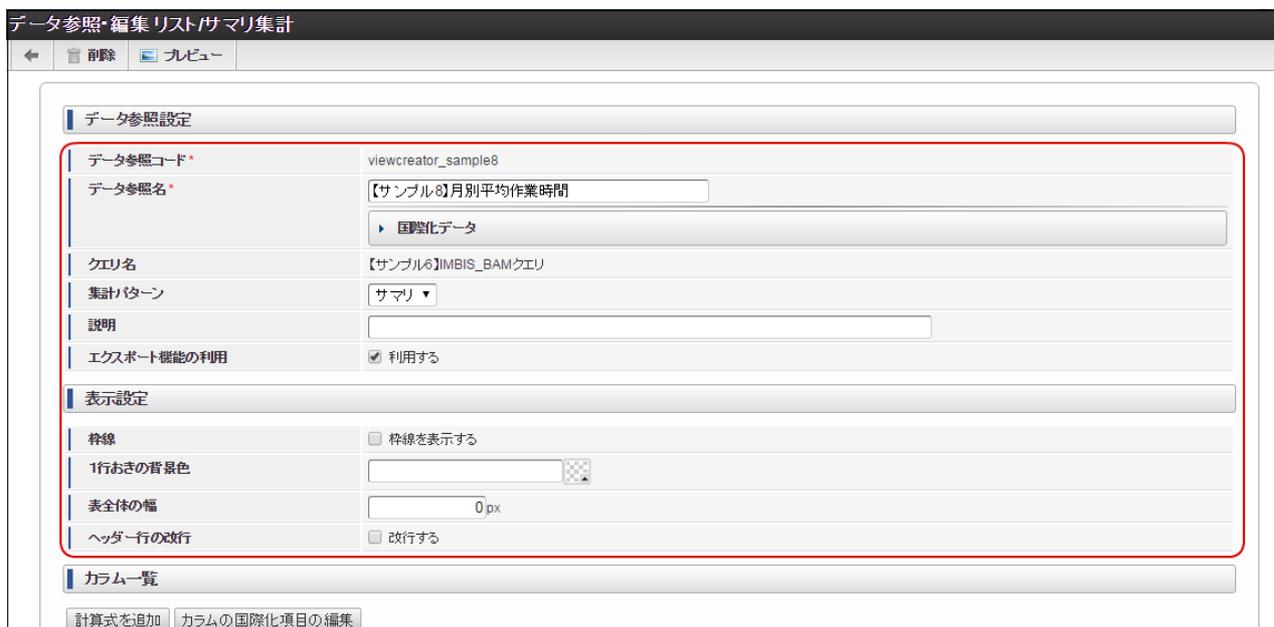
## リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

- クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。



- データ参照名などの情報を入力します。  
平均時間を算出するため、「集計パターン」を「サマリ」に変更します。



- 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。  
数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。  
また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フローID(flow_id)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ フロー名(flow_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
▲▼ ノードID(node_id)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ ノード名(node_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
▲▼ ユーザコード(user_code)		<input type="checkbox"/>				
▲▼ 作業完了月(execute_month)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>	yyyy/MM	昇順		
▲▼ ウェイト時間(wait_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	## 区切り	3桁		 
▲▼ 作業時間(process_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	## 区切り	3桁		 

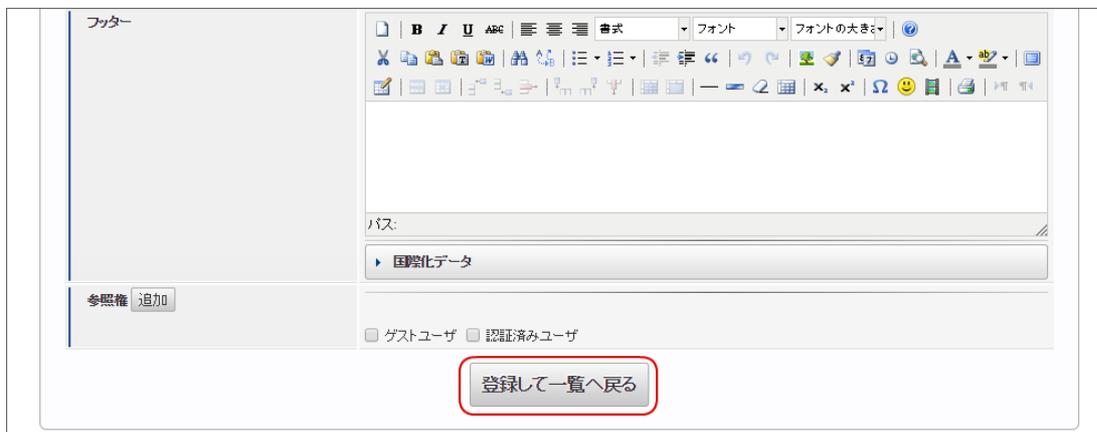
4. 担当者単位平均を算出するため、「タイプ」を設定します。  
 フロー名、フローID、ノード名、ノードID、作業完了月を「グループ化」に変更します。  
 月別に表示するため、「グループ化」対象の中で、作業完了月を最も下の行となるように変更します。  
 ウェイト時間、作業時間を「平均」に変更します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
▲▼ フローID(flow_id)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ フロー名(flow_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
▲▼ ノードID(node_id)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>				
▲▼ ノード名(node_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
▲▼ ユーザコード(user_code)		<input type="checkbox"/>				
▲▼ 作業完了月(execute_month)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>	yyyy/MM	昇順		
▲▼ ウェイト時間(wait_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	## 区切り	3桁		 
▲▼ 作業時間(process_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	## 区切り	3桁		 

**i** コラム

「表示設定」で、処理時間が長いカラムの文字色変更や表示非表示等の設定できます。  
 詳細な設定方法は、「ViewCreator 管理者操作ガイド」を参照してください。

1. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。



2. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

### **i** コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照してください。

ViewCreator / IM-FormaDesigner を連携して活用する方法をご紹介します。

## サンプル9 Formaアプリの登録データの一覧を作成する

IM-FormaDesigner アプリの登録データの一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルでできること
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

### このサンプルについて

このサンプルでは、特定の Formaアプリの登録データの一覧を ViewCreator で作成します。

作成した一覧の項目に、Formaアプリの「更新」・「参照」画面へのリンクを設定すると、リンクから案件の「更新」・「参照」画面を表示できます。

本項では、Formaアプリのサンプルとして登録されている「【サンプル】備品管理(v8)」を例として、一覧を作成します。

任意の項目を表示できます表示項目に対し、サマリやグラフの表示も可能です

登録データID	備品名	購入単位	最低数量	価格
5ieosooznpuoa5	ノート	1	10	1,000
5ieosop12184a5	ボールペン	3	1	1,200
5ieosop14	付箋紙	2	1	800

登録済みデータの一覧を表示

対象データの更新・参照画面を表示

登録・更新する備品の情報を入力してください。\*の項目は入力必須です。

備品名 \* ノート

ロケール \* 日本語

メーカー

購入単位 \* 個

最低数量 \* 10

色

サイズ

価格 \* 1,000 円

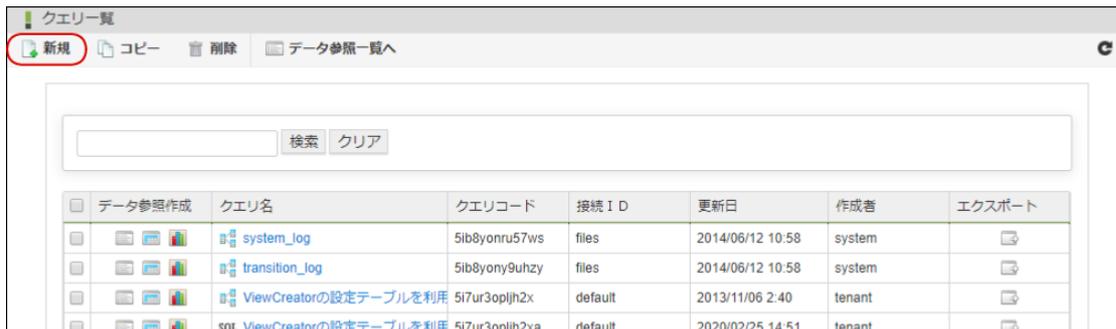
### このサンプルでできること

- ViewCreator から Formaアプリの「更新」・「参照」画面を表示するリンクを張ることができます。
- Formaアプリの登録データに対し、任意項目を表示し、サマリやグラフの表示ができます。

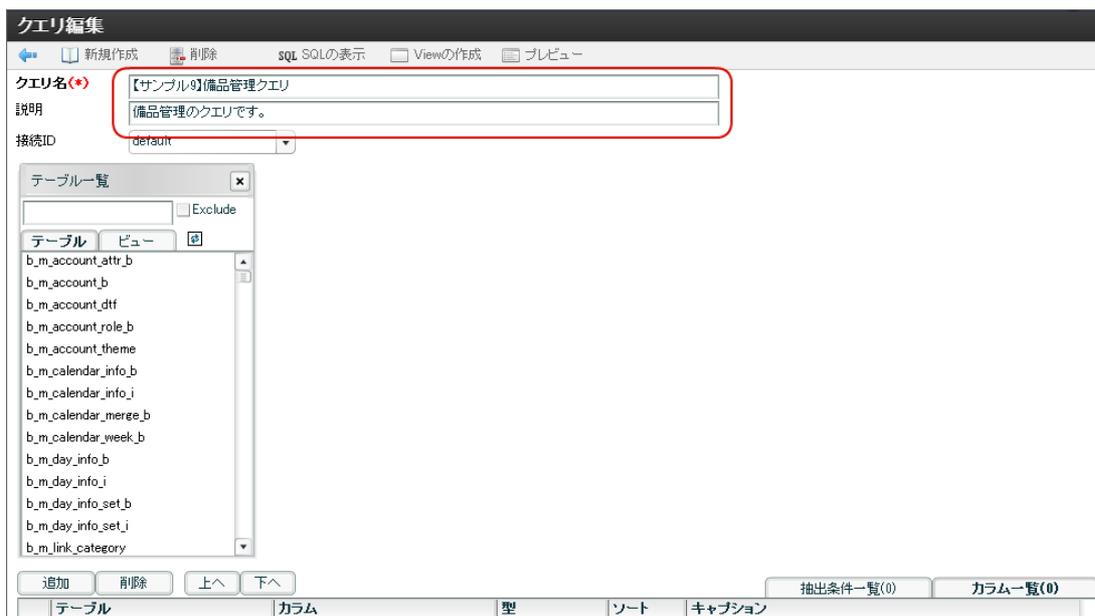
### クエリを作成する

アプリケーションをViewCreatorから参照するために、ViewCreatorのクエリを作成します。

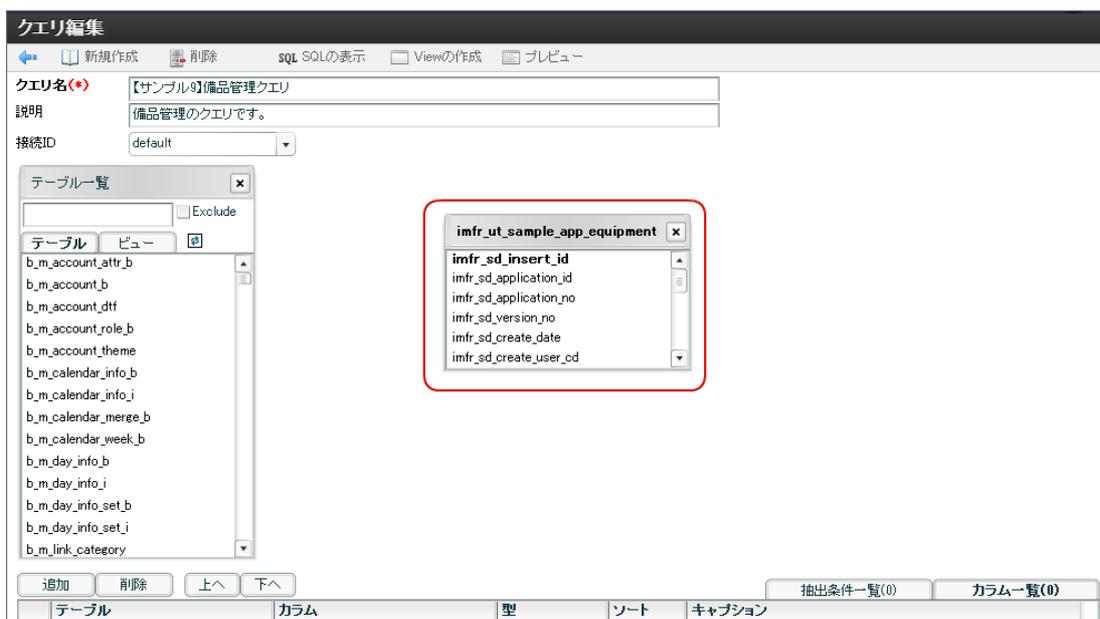
1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリー一覧」をクリックします。
2. 「クエリー一覧」で「新規」をクリックします。



3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。



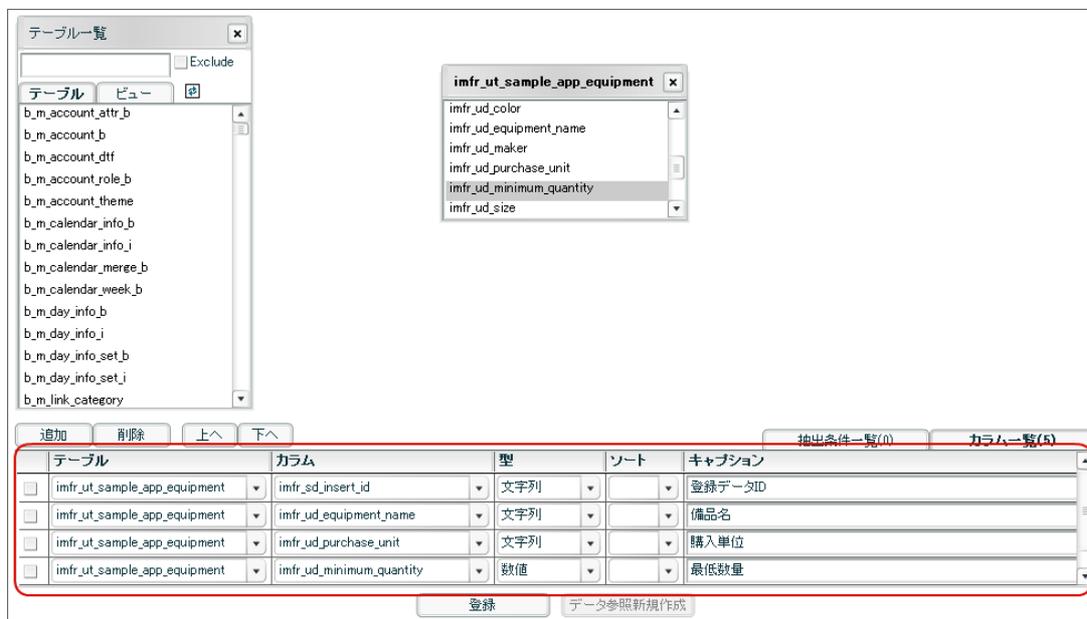
4. 「テーブル一覧」から下記のアプリケーションのテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。
  - imfr\_ut\_sample\_app\_equipment



## コラム

アプリケーションのテーブル名の確認方法は、「[アプリケーションのテーブル情報を確認する](#)」を参照してください。

- 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。  
一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。
  - imfr\_ut\_sample\_app\_equipment
    - データ登録ID (imfr\_sd\_insert\_id)
    - その他に一覧に表示したい項目に対応する入力項目のカラム

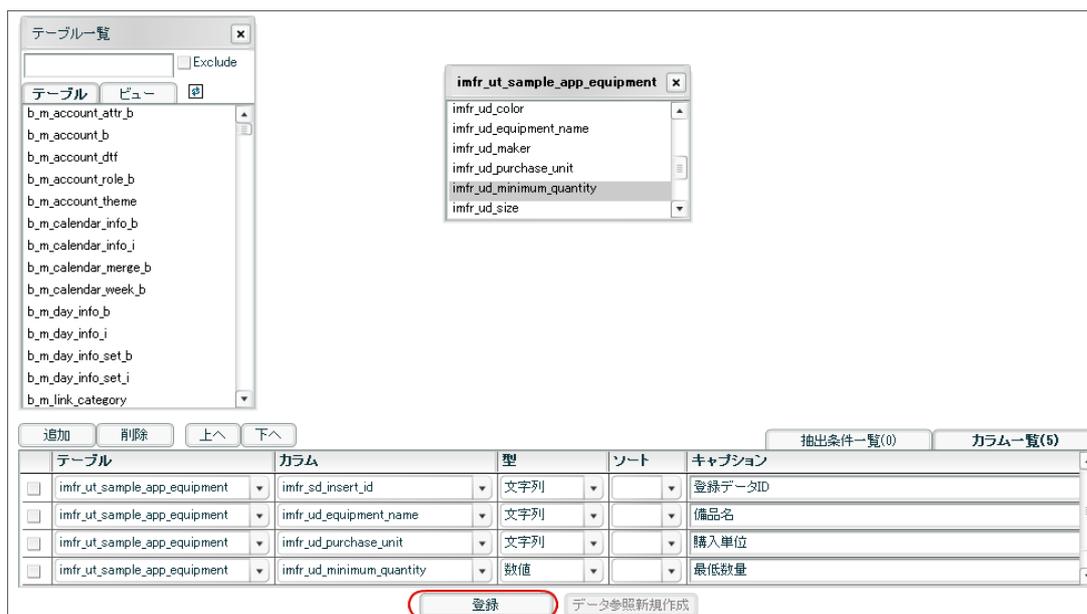


## コラム

「imfr\_sd\_insert\_id」は、IM-FormaDesigner のアプリケーションのテーブルの「データ登録ID」が格納されるカラムです。

ViewCreatorの「リスト集計」画面を表示する場合には、このカラムの値に基づいてリンクさせる必要があります。

- 追加が終わったら「登録」をクリックします。



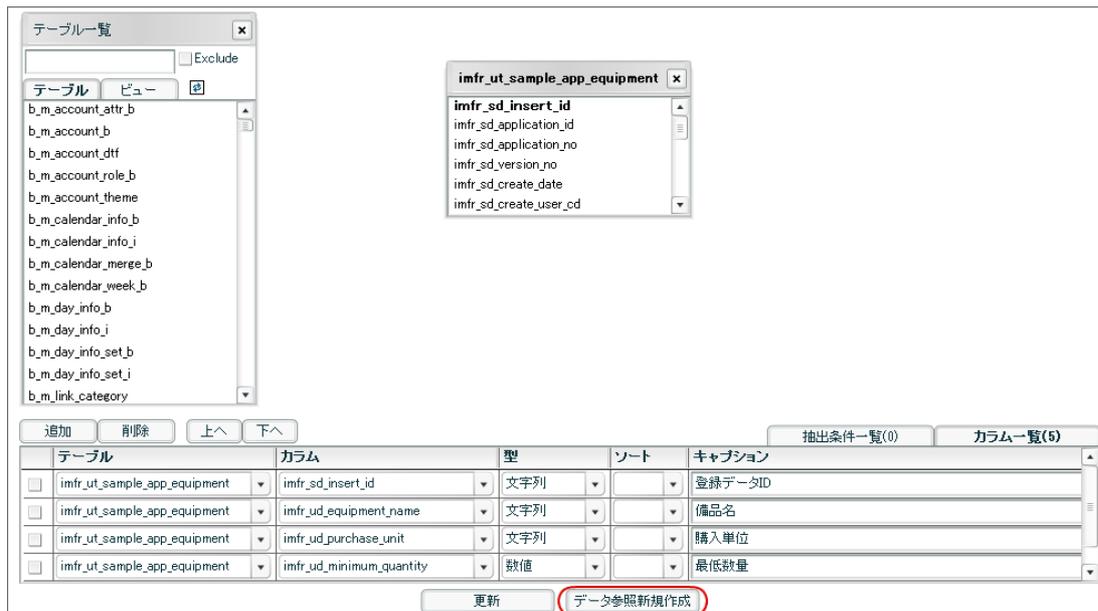
- 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

## リスト集計画面を作成する

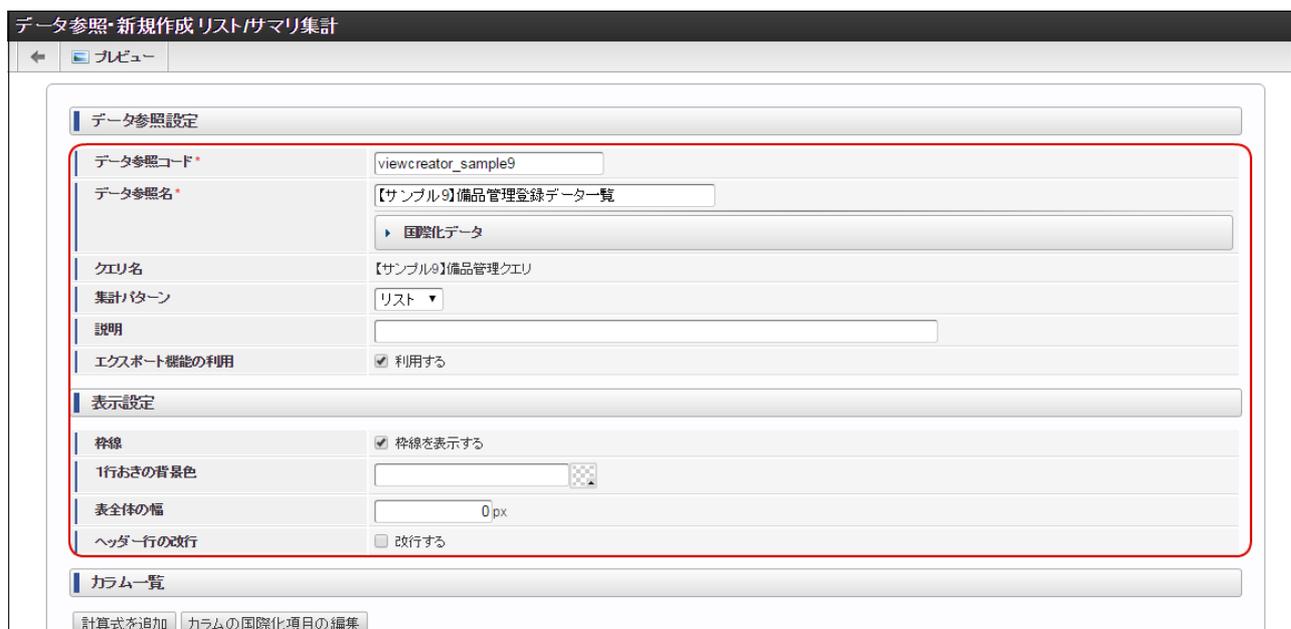
作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

リストに表示する項目から IM-FormaDesigner の「更新」・「参照」画面を表示できるように、リンクを設定します。

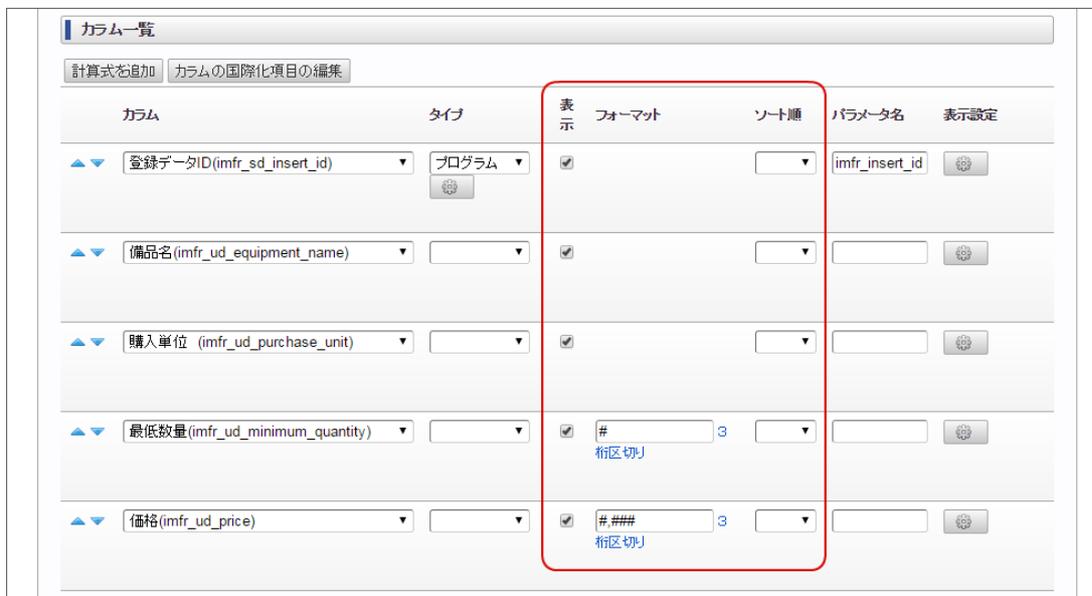
- クエリが登録された後に、「登録」（更新）の右の「データ参照新規作成」をクリックします。



- データ参照名などの情報を入力します。

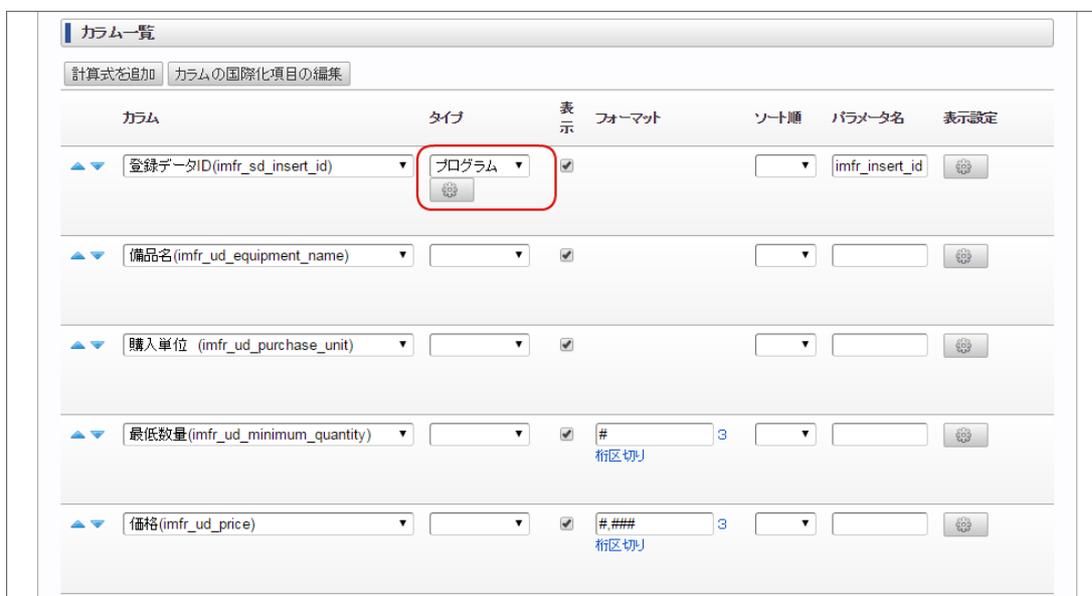


- 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。  
また、数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。



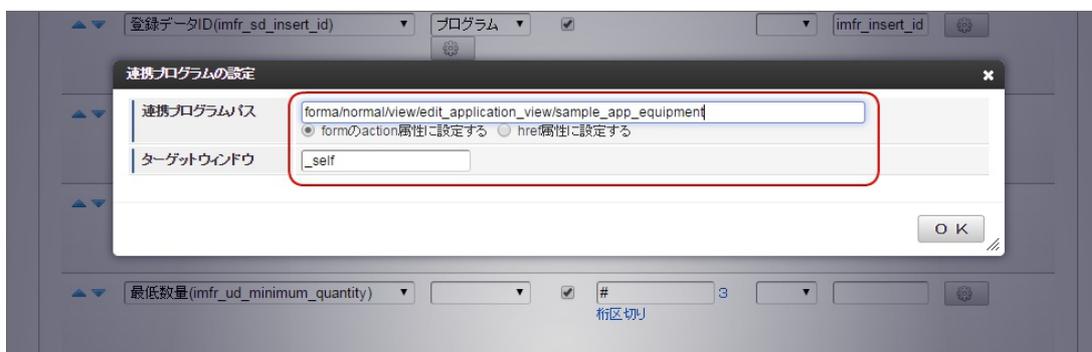
4. 登録データIDのカラム「imfr\_sd\_insert\_id」から IM-FormaDesigner の「更新」・「参照」画面を表示できるように、リンクを設定します。

リンクを設定するために「imfr\_sd\_insert\_id」のタイプを「プログラム」に変更します。



5. リンク先として、IM-FormaDesigner の「更新」・「参照」画面を呼び出すためのパスを設定します。

「」をクリックし、連携プログラムパスにリンクする IM-FormaDesigner の「更新」・「参照」画面のパスを入力し、「OK」をクリックします。



設定する画面	連携プログラムパス
更新画面	forma/normal/view/edit_application_view/%アプリケーションID%

設定する画面	連携プログラムパス
参照画面	forma/normal/view/refer_application_view/%アプリケーションID%

6. パラメータ名を以下の通りに設定します。

コラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
登録データID(imfr_sd_insert_id)	プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>			imfr_insert_id	
備品名(imfr_ud_equipment_name)		<input checked="" type="checkbox"/>				
購入単位 (imfr_ud_purchase_unit)		<input checked="" type="checkbox"/>				
最低数量(imfr_ud_minimum_quantity)		<input checked="" type="checkbox"/>	# 桁区切り	3		
価格(imfr_ud_price)		<input checked="" type="checkbox"/>	### 桁区切り	3		

コラム	設定値
データ登録ID (imfr_sd_insert_id)	imfr_insert_id

**i** コラム

- パラメータ名は大文字・小文字を区別しています。
- パラメータ名は必ず小文字で「imfr\_sd\_insert\_id」または「imfr\_insert\_id」を設定してください。大文字で、または異なる名称で設定した場合には、リンクが正しく生成されません。

7. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、「リスト集計」画面（データ参照）を保存します。

8. 以上で、「リスト集計」画面の作成が完了しました。

**!** 注意

- IM-FormaDesigner で作成された「標準アプリケーションの参照」画面を呼び出した際に、そのユーザに対象の IM-FormaDesigner のアプリケーションの参照権限がない場合、「参照」画面は表示されません。
- ViewCreator の「データ参照」画面から IM-FormaDesigner の「参照」画面へ遷移した後、IM-FormaDesigner の戻るリンクや戻るボタンによってViewCreator の「データ参照」画面に戻ることはできません。

 コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照してください。

## ViewCreator の設定データダウンロード

ViewCreator の設定データをダウンロードできます。

Zipファイル形式で圧縮しておりますので、解凍してからご利用ください。

設定データのインポート方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

### コラム

クエリの設定データの接続IDは「default」に設定されています。  
インポート後に、ご利用の環境に合わせて、接続先IDを変更してください。

### コラム

このサンプルは、フロー名、同一フローで作成された案件名、また、同一ルート内のノード名が一意となっていることを前提としています。

同一の名称を利用している場合、ViewCreatorのデータ参照編集画面のグループ化設定で、同一グループと判断されま

す。  
意図しないグループ化がされている場合は、リスト集計画面にて、グループ化の設定を見直してください。

### コラム

このサンプルは、未完了案件20万件、完了案件20万件のデータが存在する想定で、動作を確認しています。  
データ件数が想定より多く、表示に時間がかかる場合は、各サンプルの作成手順内に記載されている改善を検討してください。

### 注意

このサンプルは、intra-mart Accel Platform 2014 Winter以降のバージョンの環境で利用できます。

## サンプル1 特定フロー完了案件一覧

「[サンプル1 特定のフローの完了案件一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

[query\\_sample1.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator\\_sample1.zip](#)

## サンプル2 フロー別滞留案件一覧

「[サンプル2 フロー別の滞留案件の一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

[query\\_sample2.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator\\_sample2.zip](#)

## サンプル3 ユーザ別滞留案件一覧

「[サンプル3 ユーザ別の滞留案件の一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

- データ参照の設定データ

[viewcreator\\_sample3.zip](#)

#### サンプル4 処理対象者不在案件一覧

---

「[サンプル4 処理対象者が不在の案件一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

[query\\_sample4.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator\\_sample4.zip](#)

#### サンプル5 月別案件推移グラフ

---

「[サンプル5 月別の案件推移グラフを作成する](#)」にて作成した設定データ

- DDL（各DB環境用のDDLを利用してViewを作成）

[sample5-ddl.zip](#)

- クエリの設定データ

[query\\_sample5.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator\\_sample5.zip](#)

#### サンプル6（BAM情報）ノード別平均作業時間

---

「[サンプル6 BAM情報からノード別の平均作業時間の一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- DDL（各DB環境用のDDLを利用してViewを作成）

[sample6-ddl.zip](#)

- クエリの設定データ

[query\\_sample6.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator\\_sample6.zip](#)

#### サンプル7（BAM情報）担当者別平均作業時間

---

「[サンプル7 BAM情報から担当者別の平均作業時間の一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- データ参照の設定データ

[viewcreator\\_sample7.zip](#)

#### サンプル8（BAM情報）月別平均作業時間

---

「[サンプル8 BAM情報から月別の平均作業時間の一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- データ参照の設定データ

[viewcreator\\_sample8.zip](#)

「[サンプル9 Formaアプリの登録データの一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

[query\\_sample9.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator\\_sample9.zip](#)

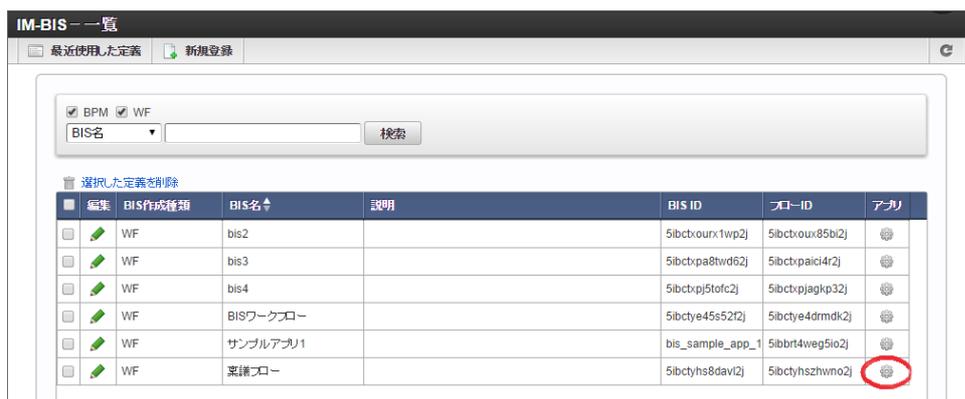
## IM-BIS のフローの案件データのテーブル情報を確認する

フローの案件データのテーブル情報を確認します。

1. サイトマップ→「IM-BIS」→「IM-BIS作成」→「IM-BIS」をクリックします。
2. 「一覧」をクリックします。



3. 対象のフローの  をクリックします。



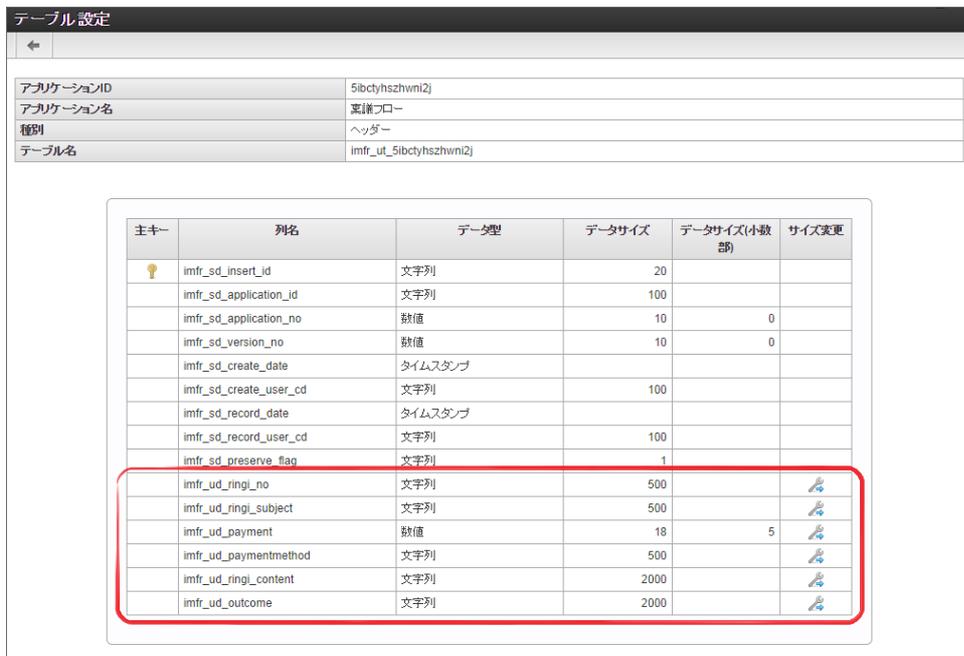
4. 「テーブル設定」をクリックします。



5. 「参照」をクリックします。



6. テーブル名、データを取得する対象の列名を確認します。



## アプリケーションのテーブル情報を確認する

Formaアプリケーションのテーブル情報を確認します。

1. サイトマップ→「Forma管理画面」→「Formaアプリ作成」→「アプリ一覧」をクリックします。
2. 対象のアプリの をクリックします。



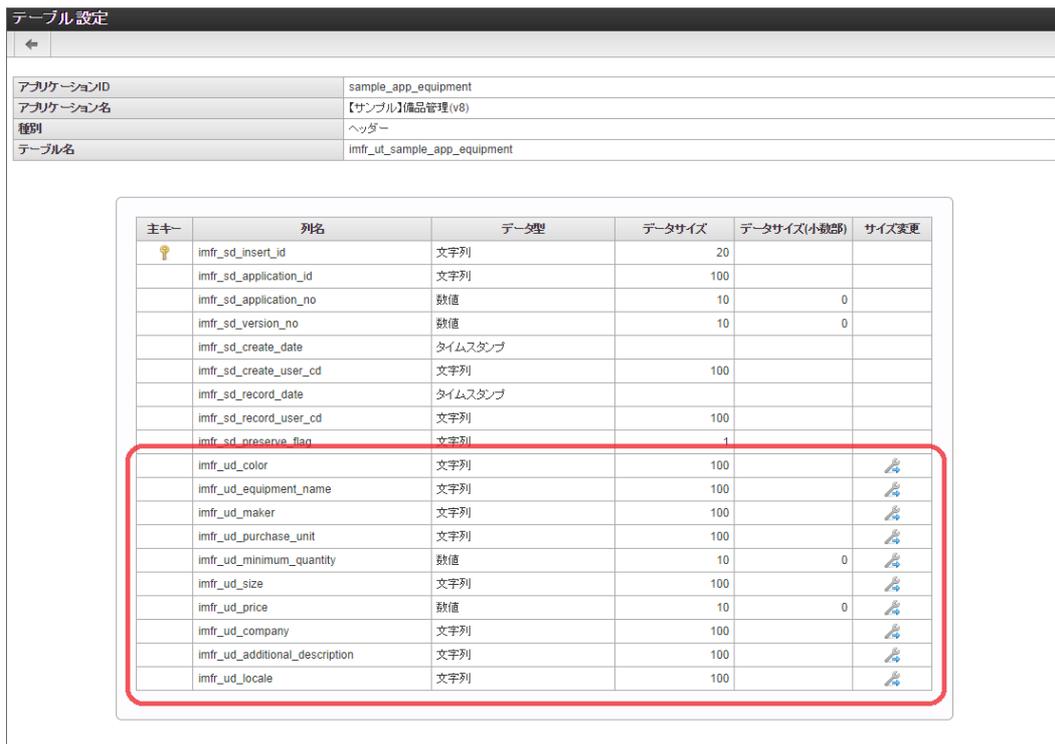
3. 「テーブル設定」をクリックします。



4. 「参照」をクリックします。



5. テーブル名、データを取得する対象の列名を確認します。



## IM-Workflow の詳細画面への遷移URL

IM-Workflow の色々なコンテンツ画面へ遷移するURLについては、下記にまとめました。

- [色々なコンテンツ画面へ遷移するURL](#)

